

令和7年度 恵那市
地域学校協働活動の取り組み



恵那市教育委員会 社会教育課

令和8年3月

地域学校協働活動の取り組み

恵那市教育委員会 社会教育課

1 はじめに

恵那市で全ての地域に推進員を配置した地域学校協働活動がスタートしてから5年目を終えました。古くから続いてきている地域の活動と学校のふるさと学習が結びつき、恵那ならではの活動モデルもでき上がってきました。

令和6年1月、社会教育委員会から「恵那市における地域学校協働活動の推進について」という指針を答申していただきました。本年度は、それを指針として各地域の特色を生かした「学校を核とした地域づくり」につながる活動を通して、推進員がコーディネートする形で地域の緩やかなつながりづくりが進んでまいりました。

本冊子は、本年度の恵那市の各地域の取り組みをまとめたものです。紙面の都合などもあり、概要と実践のごく一部が載せてあります。しかし、各地域においては、工夫に工夫を重ね、努力に努力を重ねた実践の記録です。

2 推進員

今年度は13地域において14名（任期1年目/2年）で推進してきました。市内の全ての地域に推進員が位置づき、推進員が各校区の小学校・中学校の学校運営協議会に所属することで、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が進むよう体制を整えてきました。推進員が学校運営協議会に出席することで、学校の運営方針、地域の願い、目指す子供像等を学校と地域が相互に共有することで、同じ方向を向いて活動が進んでいます。これにより一段と活動内容も充実してきました。

3 社会教育委員会との関わり

「地域学校協働活動の諸活動の運営方針を審議したり、評価・検証をしたりする運営委員会を設置する」と国のガイドラインには示されています。恵那市は、新たな運営委員会を設置するのではなく社会教育委員会をこれにあてています。

「できるときに、できることから、誰もが参加できる」を合言葉に、恵那市は「恵那市版の地域学校協働活動」を続けてきました。しかし、推進員の役割が不明確であったり、学校や地域の地域学校協働活動への認識、後継者不足の問題があったりと課題や改善点も明らかになってきました。そこで、これまでの成果の上に立って、さらに恵那市の地域学校協働活動を進めていくために、社会教育委員会が恵那市教育委員会より諮問を受ける形で、恵那市としての指針について討議を重ねてきました。

そして、令和6年1月23日、令和5年度第5回社会教育委員会の冒頭において社会教育委員長から教育長へ答申が手渡されました。令和6年度には、社会教育委員と地域学校協働活動推進員での合同会議を行うなど、答申を受けた地域学校協働活動の現状とあり方を協議しました。今後は、この答申にそって恵那市の各地域の地域学校協働活動が、多くの地域住民の参画による学校を核とした地域づくりへと発展することが期待されます。

4 推進員協議会

- 第1回 5月21日
- ・委嘱
 - ・年間計画の確認
 - ・地域学校協働活動本部の在り方について
 - ・今年度の取組について
- 第2回 7月9日
- ・実践紹介と情報交流（本年度の取組の進捗状況）
年間計画の在り方
- 第3回 10月15日
- ・実践紹介と情報交流
地域の実情に応じた地域学校協働活動の現状について
前期の取り組みの交流
地域の中で活かされている学校での学び・活躍する児童生徒の姿
- 第4回 12月10日
- ・講話「東濃地域の地域学校協働活動本部の現状について」
恵那県事務所 振興防災課振興防災係課長補佐 牧野賀一
 - ・「地域学校協働活動の取組」のまとめについて
- 第5回 3月18日
- ・令和7年度のまとめ（成果と課題等）

<研修>

- 8月21日
- ・東濃地区社会教育振興協議会研修会 瑞浪北中学校
- 9月16日
- ・地域学校協働活動フォーラム

5 成果と課題と改善策

【成果】

- ・各地域での願う子供の姿を明確にもって活動が行われている。（内容）
- ・地域の特色や郷土の良さが生かされる活動が展開されている。（内容）
- ・推進員が学校と地域をつなぐ形で登下校の見守りや環境整備、読み聞かせ、学習支援など学校に対する多様な協力活動を行うことができた。（内容）
- ・地域の方々が子供たちの活動にかかわる中で、コミュニケーションが図られるとともに、小中学生の中に「地域のためになりたい」という地域貢献意識が育まれた。（内容）
- ・地域の方々が、学校の活動を支援し子供たちとかかわることで、「子供たちの笑顔がうれしい」「顔見知りも増えた」「子供たちや地域に役立てたならうれしい」等の声が聞かれ、地域の方々の活力につながった。（内容）
- ・学校での活動が、伝統芸能や祭り等地域の行事に生かされる場面が増えてきた。（内容）
- ・各地域の特色ある人、物、場所を活用した活動を意識して継続されている。（人材）
- ・推進員が、小中学校の学校運営協議会の委員となることで、学校運営協議会と地域学校協働活動の連携がスムーズに行われるようになった。（人材）
- ・地道な積み上げが地域と学校の気持ち良いつながりを長く継続する基になっている。（相互理解）

- ・地域の広報などで地域学校協働活動の様子を発信することで、地域への理解を広げることができる。（広報）
- ・推進員が地域の振興事務所や振興室と連携しながら活動をすすめることができる。（組織）
- ・各地域の中で、それぞれの実態に応じて地域学校協働活動本部が位置づき、地域と学校の連携が進んでいる。（組織）

【課題】

- ・複数の小学校区からなる中学校区では、連携の在り方が不明確で中学校との関わりが難しい状況であった。（組織）
- ・新たに開校する恵那南中学校区の地域学校協働活動の在り方について次年度以降本格化させる必要がある。（組織）
- ・地域における地域学校協働活動推進員の認知度向上、地域学校協働活動への住民参加の増加に取り組む必要がある。（理解）
- ・各学校内において、校長・教頭以外にも地域学校協働活動の認知を図る必要がある。（理解）
- ・多くの住民を活動に巻き込んでいく方策を工夫する。（人材）
- ・時代とともになくなりつつある地域の伝統を継承するという地域課題の解決に資する活動も充実する必要がある。（活動内容）
- ・地域学校協働活動のねらいの再確認、学校支援活動との違いを明確に持つ。（活動内容）
- ・「学校の応援」といった活動イメージが強いので、「地域づくり」を軸足とした活動の在り方を考えていく必要がある。（活動内容）
- ・目指す子供の姿を実現するための様々な活動であることを明確に持ち、活動が目的とならないようにしていく必要がある。（活動内容）

【改善策】

人材

- ・活動の担い手を育成する。
- ・高齢者の知恵をうまく使えるよう地域学校協働活動のメンバーに入れる。
- ・各地域において、ボランティアとして参加する人材を広く募集し、地域学校協働活動に参加画する人材を増やす。

活動内容

- ・既に行われている個々の支援活動を連動させて「総合化」「ネットワーク化」を考える。
- ・地域の行事等で中学生のボランティアを募るなどして、地域づくりの一員として、子供たちが活躍できる場を創出する。
- ・埋もれつつある地域の取り組みなどを掘り起こし、活性化させていく。

相互理解

- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の役割を明確化し、相互に連携できるようにする。
- ・学校と地域、子供や保護者も含めて課題や自分たちの思いを共有できる場をもつ。
- ・各コミュニティセンターとの連携強化等、関係する団体が相互に連携できる仕組みをつくる。

広報

- ・地域の広報を活用するなど、積極的な広報活動を行う。（広報紙等）

これまでの恵那市の地域学校協働活動

恵那市では、令和2年度より生涯学習課が担当して地域学校協働活動の構築に向けた取り組みを進め、令和3年度より全ての地域において体制がスタートし、今年度で4年目となります。これまでの経緯について紹介します。

（学校運営協議会）

恵那市では、学校教育課が担当して平成27年度から「コミュニティ・スクール」の構築に向けた取り組みが始まりました。平成29年度にはモデル校を指定して実践を試み、翌平成30年度には全小中学校を指定して学校評議員会から組織・委員等の改変を経て組織づくりに取り組みました。恵那市での学校運営協議会の取り組みは、今年度で7年目になります。

（地域学校協働活動）

【令和元年度】

地域学校協働活動本部の立ち上げを視野に入れて学校運営協議会でも意見が交わされるようになりました。

【令和2年度】

生涯学習課が担当して地域学校協働活動の構築に向けた取り組みを進め始めました。推進員は、地域自治区会長へ推薦依頼をすることになり、地域の中では、早い段階から候補者があがって決まってくるところとかなり期間を要するところもありました。

【令和3年度】

5月に11地区12名の推進員の委嘱式を行い、後日2地区2名の委嘱も終え、13地区14名の推進員体制で各地域の地域学校協働活動がスタートしました。

【令和4年度】

13地域において14名（任期2年目）（岩村：小中学校担当各1名）でスタートしました。その内3名が途中で退任され、その後2名を新たに委嘱し、途中から13名で推進しました。

ほぼ全員の推進員は小学校の学校運営協議会に所属していますが、中学校にも所属できるような仕組み作りが望まれました。

【令和5年度】

13地域において15名（任期1年目）で推進してきました。恵那市の全小学校区域に推進員が位置づき、学校運営協議会にも出席しています。それにより、学校の運営方針が共有でき、学校と地域が同じ方向を向いて活動できるようになりました。

社会教育委員会が恵那市教育委員会より諮問を受ける形で、今後の恵那市の地域学校協働活動の指針について1年間討議を重ねてきました。令和6年1月23日、第5回社会教育員会の冒頭において社会教育委員長から教育長へ答申が手渡されました。

【令和6年度】市役所の組織改編に伴い、地域学校協働活動の担当課が社会教育課となる。

令和5年度第5回社会教育員会の冒頭において社会教育委員長から教育長へ答申が手渡されたことを受け、令和6年度第1回の推進員協議会では、社会教育委員長による答申書の説明を行いました。また、1月には、今年度の取組を社会教育委員と共有するために合同会議を行い、恵那市の実態にそった地域学校協働活動の在り方について考えてきました。今後は、この答申にそって恵那市の各地域の地域学校協働活動が、多くの地域住民の参画による学校を核とした地域づくりへと発展することが期待されます。

令和7年度地域学校協働活動本部等の設置状況

地区名	地域学校協働本部名称	設置要綱等の有無	本部長(役職等)	協働本部発足の期日	協働本部の設置に至るまでの経緯等	協働本部の構成員(役職等)	組織等 (別紙も可)	今年度実施した活動内容及び開催した会議、打ち合わせ等	課題等	来年度の方角等
大井	大井町地域学校協働本部	有	地域学校協働活動推進員	令和7年6月27日	令和7年4月2日大井自治区役員会で協働本部立ち上げを提案。以降、立ち上げのための資料作りをする。4月30日担当の社会教育課遠山主幹も加わって自治区役員と意見交換。6月26日自治区運営協議会で協働本部設置を承認、翌27日地域学校協働本部を正式に立ち上げ第1回会議を開催した。	地域学校協働活動推進員 社会教育委員兼青少年健全育成町民会議代表 社会教育委員兼ふれあい交流会代表 大井振興室長 地域連携担当(大井小、大井二小教頭)		①地域・学校の年間行事一覧表を作成 ②学校支援 ・駐車場整理 ・剪定、草刈り ・野菜作り ③クラブ活動 ・太鼓、ポッチャ、手芸、むかし遊び ④地域行事への参加 ⑤学校運営協議会 等	・支援活動から協働活動へ向けての組織づくりと連携の強化	一つで良いので学校と地域が協働してできる事業を推進する。
長島	長島地域学校協働本部	有	地域学校協働活動推進員	令和3年4月1日	長島地域自治区運営協議会において、推進員の選出と協働本部設置要綱の承認をもらい設置した。	【協働本部役員】 地域学校協働活動推進員 長島振興室長 市民会館塾長 地域連携担当(小学校教頭) 地域連携担当(中学校教頭) 【協働本部構成員】 長島地域自治区運営協議会委員	有	【主体事業】 ・長島地域学校協働活動本部会議 ・恵那西中(ウエストンウォーク恵那)の生徒交通安全街頭指導 ・長島小・おもしろワークショップ共催(青少年育成町民会議) ・長島小学校グランドゴミ拾い大作戦 ・12月の長島小読み聞かせに地域住民をコーディネート ・ポッチャ指導(長島小4・5・6年クラブ活動) ・長島小1年生:昔遊び体験(壮健クラブ・中部大学伝統芸能探究会の指導でめんこ・けん玉などを体験) ・長島小4年生:長島町花いっぱい事業(壮健クラブ指導で花植え、警察署・文化センターなど町内施設に花植えしたプランターを持参) ・長島小6年生:福祉体験として乳幼児学級にて読み聞かせなどを企画担当。町内独居高齢者にカードを150名にを送る。地域の皆さんと交流会(ポッチャや昔遊び) ・地域つなぐカレンダー製作 ・他地域交流事業として大井小・大井第二小のポッチャクラブと共にポッチャ交流会を開催 【関連団体事業】 長島町交通防犯パトロール隊、長島町自主防災会議、長島町青少年育成町民会議、市民三学長島委員会、長島小学校林委員会、長島町体育協会、ポッチャのまちおさしま他	・各団体が学校と関わる活動を行っており、地域学校協働活動本部としては、各団体へのコーディネートとサポート活動を行っている。また、学校と話し合いながら各学年が地域と関わる持続性のある活動を1つつ進めていきたい。 ・課題は町内への地域学校協働活動の周知がまだまだ足りないと感じる。組織として動く体制がまだ未熟であり、今後組織運営のあり方など検討しなければならない。 ・恵那西中の活動については、武並、三郷の推進委員と連携して、何が出来るかを検討する機会が中々持てないのが現状。	・関係する人材や団体との連携を密にし、協働で推進する。 ・学校運営協議会と連携し、学校と地域が協働できる事業を推進する。 ・恵那西中における地域学校協働活動についての考察と検討を進める。
東野	東野地域学校協働本部	有	地域学校協働活動推進員	令和3年4月1日	学校運営協議会の組織と仕組みを地域版にアレンジして、その中核に推進員を置いた。	地域学校協働活動推進員 地域自治区会長 振興事務所長 三学塾塾長 地域連携担当(小学校教頭)	有	<安全支援部会> 交通安全教室、防犯教室、防災訓練、登下校の見守り、通学路点検、地域環境美化、資源回収、学校環境美化、選定作業、グランド除草 <学習支援部会> 1年生:野菜苗植え、昔の遊び 2年生:野菜苗植え、さつま芋苗植え、芋ほり、焼き芋 3年生:大豆種まき、栗選果場見学、大豆収穫、味噌・豆腐作り 4年生:田植え、稲成長調査、ヘチマ植え、稲刈り、脱穀、収穫祭 5年生:田植え、稲成長調査、稲刈り、脱穀、収穫祭、間伐体験 6年生:記念植樹 全学年:文化祭・音楽祭への参加 <活動支援部会> 自然探検・郷土歴史クラブ、郷土料理クラブ、歌舞伎クラブ、水泳教室開催、 2年生:ホタル学習・幼虫の放流 <図書支援部会> 図書整備支援、読み聞かせ年8回	全体でバランスの取れた動きができるようになってきたが、まだ推進員に任せきりになり、負担が集中するところがある。 児童主体の活動になり、学校職員も推進委員と一緒に地域文化や産業を知り、点で終わることがなく、学校教育として学びが広がるようにしたい。 子育てに困っていたり家庭環境がよくなかったりする家庭に、地域として関わって教育支援ができるようにしたい。	関係する人材や団体との連携を密にし、地域学校協働活動で行っている活動内容を知ってもらい、関わる人材の輪を広げる様に共同で推進する。
三郷	三郷町地域学校協働本部	有	三郷地域自治区会長	令和4年1月13日	・地域自治区運営委員会において、地域のまちづくりの一つとして協働本部の組織体制について承認を受け、その構成員は自治区運営委員と学校運営協議会、推進員を位置づけることとした。 ・目指す子どもの姿は、まちづくりの目標から「地域に根付き、地域に貢献する子どもを育てよう」とした。 ・現在のそれぞれの団体の活動を連携したり、工夫をして目標とする子育てを進めていく。 ・協働本部として町全体で子供を育てる支援として出来る事を検討して取り組む。	地域自治区運営委員23名が兼務 小中学校学校運営協議会委員代表 地域学校協働活動推進員 事務局(コミュニティセンター職員5名)	有	・町内の子供に関係する団体の「令和6年度の活動記録集」を発行し、町内回覧した。(5月) ・学校の要請に基づく支援者の派遣等。(学級懇談会時の児童の見守り、学習活動への指導者の派遣等) ・青少年育成町民会議等による子供達を巻き込んだ活動を実施。 ・令和6年度より、秋に通学路の草刈り作業を町内で実施した。 ・令和8年度より「下校時のあいさつ・見守り活動」を行うよう、事業計画の立案と実施者の募集などを行った。	・三郷町内の子供に関わる各団体等の活動が難しくなっている。(子供の減少と参加意識の低下) ・既存の活動も、団体間や学校と地域における相互に連携した取り組みにはなっていない。 ・あいさつ運動や通学中の安全確保のための「あいさつ・見守り活動」を実施する。(新規) ・町内の共同活動として、あらたに「あいさつ・見守り活動」を実施するよう準備中。	・地域学校協働活動の目的やねらいを町内の団体に伝えていく。 ・各団体が、出来ることを考え、連携していく。(活動集の発行) ・三郷町の協働活動として、「通学路の草刈り事業」を継続する。(3年目) ・あいさつ運動や通学中の安全確保のための「あいさつ・見守り活動」を実施する。(新規) ・お互いの団体や個人の取組を団体間、学校とつなぐ。(子どもに関わる活動や取組み)
武並	武並地域学校協働活動推進委員会	有	地域学校協働活動推進員 (設置要綱では統括コーディネーター・委員長として位置付ける)	令和3年6月16日	地域学校協働活動推進員が原案の大筋を作成し、地域自治区運営協議会長、藤・竹折協議会長・コミュニティセンター所長、塾長、学校代表及びコーディネーター予定者で組織する役員会で了解を得て発足した。令和3年6月16日の第1回推進委員会において初年度の活動内容等を決定した。	顧問 地域自治区運営協議会長 顧問 藤区協議会長(地域自治区運営協議会副会長) 顧問 竹折区協議会長(地域自治区運営協議会副会長) 顧問 武並小学校長 委員長 統括コーディネーター 元小学校長 副委員長 地域コーディネーター 三学塾塾長 副委員長 地域コーディネーター 放課後子ども教室 学校代表 地域連携担当 小学校教頭 武並子ども園園長 主任児童委員 武並小学校PTA会長 市民三学武並委員会委員長 青少年育成町民会議会長 武並消防団団長 壮健クラブ連合会長 上の洞げんきクラブ会長 道笛保存会会長 事務局 武並振興事務所長	有	<青少年育成町民会議> 見守りボランティア、見守りボランティア対面式、感謝の会 <市民三学委員会> フォトコンテスト、 <消防団> 防災スクール等4日 <交通安全武並支部> 街頭安全指導8回 <中山道保存会> ふるさと学習(3年生・6年生) <青少年育成町民会議(子ども会)・地域自治区運営協議会・壮健クラブ> ラジオ体操(夏季休業中)、環境美化運動 <小学校学習ボランティア活動> 算数ボランティア(1・2年):年間17回、ミシンボランティア(5・6年):年間6回、読み聞かせボランティア:年間9回 <地区協議会小学校環境整備> 草刈り作業:2回 <上の洞元気クラブ> 花壇ボランティア、正月飾り、昔遊び、工作クラブ等 <ぞうSunクラブ> ボランティア:9回 <藤武並神社道笛保存会> 年間11回 <案々会>武並音頭指導 こども園・小学校1回ずつ 【会議】 地域学校協働推進委員会は年2回開催(5/7.3月上旬)	・本活動の周知をさらに図るよう努める。 (前年度に引き続き、6年度も広報「たけなみ」(全戸配布)に毎月実施した諸団体名と活動内容、参加人数等を載せた。 ・地域学校協働活動の意義や活動内容について、学校と共通理解をさらに深める。 ・各団体のメンバーの高齢化により、今後の継続した活動を望む。	・次年度に向けて、新たな取り組み、縮小及び変更する活動、時期等を話し合う。 ・諸活動への理解と参加者がひとりでも多くなるように広報活動を引き続き行う。 ・広報「たけなみ」で毎月の活動の様子を伝える。 ・本年度、年間活動計画を作るに際し、学校での活動日時をほぼ確定できるようにして頂いた。来年度も同様でありたい。
笠置	恵那北地域学校協働活動委員会	有	委員の互選により決定	令和2年7月3日	社会教育委員が地域協議会や小中学校等へ働きかけ、委員構成、要綱案等を作成。笠置地域協議会では、地域計画後期計画に位置付けた。令和2年5月地域協議会活気あるまちづくり分科会にて報告後、令和2年7月3日の第1回委員会にて設立。令和3年度からは、久須見区も参加し、恵那北地域学校協働活動委員会と名称変更。	顧問 笠置地域協議会会長 顧問 久須見区長 区代表 小中学校教頭 地域学校協働活動推進員 事務局 (振興事務所)所長 (コミュニティセンター)三学塾長	有	夏野菜づくり学習 笠置コミセンファスタへの出展 3〜6年生カヌー体験事業・児童千田川遊び げんきたなんじゃもんじゃウォーキング 花苗植え、ゆずもぎ体験、 歴史伝統学習(千田古墳、猪狩山城跡、久須見城、笠置橋、笠置峡、木曾川) かかしづくり・米づくり・笠置ふるさとゆず祭り参加 地域行事への参加、地域イベントへのボランティア企画	笠置三町体制を見直す必要がある。 1)中学校に三町が関わっているが、地域学校協働本部の体制がなく、各町の地域学校協働本部の中学校への関わり方が明確になっていない。 2)地域歴史学習で地域、学校との連携事業を更に強化し学童の地域に対する要望、希望を受け入れる体制を必要とする。	昨年度同様に学校運営協議会の方針に基づいて、児童・生徒に総合的な学習を学ぶ場所(久須見、笠置北校区)での連携をとり総合学習の指導・援助を行う。更に学校運営協議会との連携を計る。

地区名	地域学校協働本部名称	設置要綱等の有無	本部長（役職等）	協働本部発足の期日	協働本部の設置に至るまでの経緯等	協働本部の構成員（役職等）	組織等（別紙も可）	今年度実施した活動内容及び開催した会議、打ち合わせ等	課題等	来年度の方角等
中野方	中野方まちづくり連絡会	有 「中野方まちづくり連絡会規約」で位置づけ	中野方まちづくり連絡会事務局長	令和3年5月19日	既存の「中野方まちづくり委員会」を見直し、地域学校協働活動を担う「中野方まちづくり連絡会」を立ち上げた。		有	中野方まちづくり連絡会 中野方まちづくり連絡会 事務局会議 農業体験活動（樋田での米作り、野菜づくり、大豆学習） 森づくり活動（間伐体験、水源の森探索、親子で森林学習） バイオリン学習（ほたるコンサートで発表、小学校秋祭り＆創立150周年記念式典で披露） 黒瀬街道の取組（ふるさと巡り・かるた学習） 福祉体験（高齢者疑似体験）・中野方町福祉の日イベントに参加 望郷の森キャンプ体験・川遊び体験・新春かるた取り大会	貴重な体験を、地域の方の支援や協力によりすることができている。目指すことも像を学校と地域が共有し、両者の役割やできることをさらに明確にして実施していくと、非認知能力の向上等、更なる効果が得られるのではないかと。	既存の活動の意味や意義を理解したうえで、地域の方から学ぶとともに、自分たちができることを常に考えながら活動していく。さらに、各体験や活動が、中野方ならではの地域に根ざし、特色あることを、常に意識しながら進めていく。
飯 地	飯地地域学校協働活動本部	有	地域学校協働活動推進員	令和4年4月1日	三学塾塾長が中心となって原案を作成し、地域自治区協議会長、運営委員長、コミュニティセンター所長、塾長、推進員予定者で検討し、自治区協議会にて委員の了承を得て本部の組織を立ち上げた。	地域学校協働活動推進員 飯地自治区協議会会長 飯地小学校校長・教頭 飯地小学校PTA代表 飯地小学校学校運営協議会代表 民生児童委員代表 主任児童委員代表 壮健クラブ代表 飯地振興事務所長 飯地コミュニティセンター塾長	有	【活動内容】 〇いいじっ子サポーター活動 ・授業サポート（ふるさと探訪遠足、生活科、総合的な学習の時間のサポート、その他行事サポート） ・夢プロサポート（飯地の自然・歴史・文化・まちづくり等の講話、地域の伝統文化の指導） ・環境整備サポート（ふれあい花壇づくり、校内環境整備活動等） ・見守りサポート（登下校の安全見守り活動、危険箇所の情報提供、通学路の点検等） ・栽培活動サポート（学校農園の野菜づくり、学校花壇の花づくり） 〇地域と学校の協働活動 ・第31回五毛座歌舞伎公演出演（4月） ・飯地町敬老会子ども歌舞伎披露（9月） ・飯地こども園・飯地小学校合同運動会（10月） ・飯地高原文化まつり学習発表（11月） ・いいじっ子発表会（2月） 【会議】 学校運営協議会、地域学校協働活動本部推進会議 年4回開催	・地域行事及び学校支援活動を推進するためのいいじっ子サポーターの確保 ・地域と学校を繋ぐため、地域の方々に学校に足を運んでもらい子どもたちの様子をとへの愛着と誇りをもてるようにする。 ・地域の伝統芸能（五毛座歌舞伎、飯地太鼓）を継承し後継者を育成していくために今後も小学校及び中学校と連携し、地域行事において成果を発表する機会を継続して設けていく。	・少人数の学校を地域の学校として支え、学校、家庭、地域が連携したコミュニティづくりを目指すとともに、子どもたちがふるさとへの愛着と誇りをもてるようにする。 ・令和8年度においては、小学校の学級数減により教職員数が減少することもあり、より一層地域が学校を支える取り組みが重要になる。
岩 村	岩村地域学校協働本部	有	地域学校協働活動推進員	令和3年6月3日	令和3年5月17日に、地域学校協働活動推進員、振興事務所長、塾長、振興事務所職員で協働本部の役割及び協働本部の構成員について事前の打ち合わせ会を行い、6月3日の第1回本部会の開催に向けて準備を行った。	地域自治区運営協議会代表 地域学校協働活動推進員2名（小学校担当、中学校担当） 小中学校支援団体代表 まちづくり団体代表（数名） PTA会長 小学校教頭 中学校教頭 特別支援学校教頭 振興事務所長 塾長	有	【活動内容】 ・佐藤一斎生誕253年記念 第29回言志祭～佐藤一斎まつり参加 ・岩邑小6年生言志四録群読・1～5年生しいわむら体験プログラム」参加 ・岩邑中学校総合学習「温故知新」実施 ・岩邑中「防災教室」実施 ・ホッといわむらだよりにて活動内容の報告及び周知（毎月） ・まちなか子ども作品展の開催。 ・いわむら町民展 参加 ・岩村秋祭り渡御行列（雅楽・獅子舞）参加準備（雨にて行列中止） 【会 議】 7月11日（金） 第1回岩村地域学校協働本部 推進員報告・情報共有 3月 開催予定 第2回岩村地域学校協働本部 各委員報告・次年度に向けて	・恵那南中への統合後の活動の継続 ・地域学校協働活動本部の本部員のかさ上げ ・学校と地域の結び付けにおける地域学校協働活動本部員の役割	・恵那南中学校への統合後の活動の継続 ・地域の横の広がりの拡大、子育てに関わって見える方の参加 ・ふるさとを愛する意識付けの更なる推進
山 岡	山岡地域学校協働本部	有	地域自治区会長	令和3年5月27日	5月27日に運営委員会（調整会議）を開き小中学校長、地域自治区会長、地域学校協働活動推進員、振興事務所長、塾長で発足に向けて検討し合った。	・地域自治区会長 ・地域学校協働活動推進員 （地域自治区運営協議会役員会メンバー全員） ・小中学校長・教頭 ・保護者代表	有	【実施活動内容】 〇こども園・小中学校環境整備作業（草刈り、草取り） 〇総合的な学習の時間（志教育、ふるさと学習）への支援 山岡町の歴史、山岡の学校の歴史、山岡の神社（お祭りや伝統行事）、学級農園づくり、寒天工場見学、陶芸学習指導、短歌指導 書道の学習指導・指導補助、読み聞かせ、家庭科（裁縫の時間）補助、童王太鼓指導、茶道の指導、弓道の指導、絵手紙の指導、陶芸の指導、書道の指導など 〇ふるさと学習発表会（芸能文化発表会） 総合的な学習の時間で学んだ成果を、舞台発表と呈茶会、作品展示で一般に披露した。（運営と進行は中学生ボランティア） 【関連した会議・打合せ】 ・地域自治区運営協議会 ・山岡学校運営協議会	・眠っている人材を発掘するためのより幅広いゆるやかなネットワークの構築	・定期的な情報交換と情報共有の継続 ・担い手の育成
明 智	明智地域学校協働本部（明智地域自治区運営協議会の郷土部会が担う）	有	地域学校協働活動推進員	令和3年4月1日	明智地域自治区運営協議会内の4部会のうち「郷土部会」を地域学校協働本部と位置付ける。令和3年4月から明智地域自治区運営協議会規約を改正し、役割に地域学校協働活動を追加した。	あけちまちづくりフォーラム 桔梗の会 地域学校協働活動推進員 青少年育成推進員 明智町体育振興会 明智小学校校長 明智中学校長 恵那南高等学校教諭 山本芳翠顕彰会 振興事務所職員 コミセン塾長	有	【小中学校参加の主なまちづくりイベント】 ・光秀まつり（中学生ボランティア参加、小学生行列参加） ・春と秋の花の植栽作業（中学生ボランティア参加） ・町内ウォーキング大会（中学生ボランティア参加、小学生親子参加） ・世界ラリー選手権（中学生ボランティア参加） ・小中学校に紹介した地域の先生による授業の参観 【会議等】 ・地域自治区運営協議会「郷土部会」3回開催 ・小学校/学校運営協議会4回、中学校学校運営協議会4回開催 ・必要に応じた振興事務所との打合せ ・小中学校に係る学生地域イベント参加の調整 ・中学校閉校記念事業実行委員会3回開催	コミセンの塾長が推進員であり、クラブ活動の講師の紹介、地域の先生の紹介依頼が学校からあり、コミセン利用のサークル活動団体の紹介はできるが、調整等業務が集中し多忙になる。	明智町内の様々なまちづくり活動について、学校側と調整をしながら学生ボランティアの参加を継続し、生まれ育った地である明智町に対する愛着の醸成を図っていく。
串 原	串原地域自治区運営協議会教育・文化部会		教育・文化部会部会長			運営協議会委員3名（部会長・副部会長） 中学校PTA会長 中学校教頭 振興事務所長 地域学校協働活動推進員		【活動・イベント】 ・総合的な学習時間への支援 ・子ども園、小中学校環境整備事業 ・小中学校あいさつ運動 ・園・小・中・住民大運動会 ・くしはらふるさと祭り ・串原中学校閉校式典 【会議等】 ・地域自治区運営協議会 ・ふるさと祭実行委員会 ・市民三学串原委員会 ・串原青少年育成実行委員会 ・串原中学校閉校記念事業会議	・学校部活動の地域移行やふるさと学習の継続に対する地域の人材不足。	地域の活動の担い手が減っている中でも、学校が地域とのつながりを大切にしたい学習を取り組む上での地域のことを学ばせて生ける人材の紹介や活動を継続していく。
上矢作	上矢作地域学校協働本部	有	地域自治区会長	令和4年2月1日	令和3年度の学校運営協議会、地域自治区運営協議会、上矢作地区こども関係機関連絡会等で検討を重ねる中で、設置に向けて地域学校協働本部の会議で決定した。	地域学校協働活動推進員 上矢作地域自治区会長 上矢作学校運営協議会会長 上矢作小学校長 上矢作中学校長 上矢作こども園長 地元市議会議員 上矢作振興事務所長 コミュニティセンター塾長 学識経験者及びこの組織の協力者	有	【活動・イベント】 ・小学校地域めぐり（文化、歴史の継承） 5月16日・21日・30日 ・中学校上矢作フォーラム 年間（伝統部会・福祉部会・地域活性部会） ・田畑栽培活動 ・学校周辺環境整備作業 ・ドローンイベント2回（8月3月）・学習（小中各6回） ・ふるさとまつり（太鼓演奏等） ・夏休み子ども教室（手作りハン屋さん、ポッチャ）中学生ボランティアスタッフ ・道の駅周辺イルミネーション設置 11月30日 中学生ボランティア 【会議等】 ・上矢作地区子ども関係機関事務連絡会 ・学校運営協議会 ・地域自治区運営委員会 ・上矢作地域学校協働本部会議 年2回開催	活動に携わる人の確保が難しい。	・活動の担い手育成 ・地域の人と関わりを持つ体験の場づくりの推進

「学んで生かす」地域学校協働活動

大井地域学校協働活動推進員 足立孝晴

対象学校	恵那市立大井小学校	対象学年	全校
協働活動内容	16年前からコミュニティ・スクールとしての学校づくりを進めている大井小学校に於いて現在の体制が順調に進んでいくための一助として活動していくと共に、来年度の児童の認知力・非認知力を高めていく地域学校協働活動を具体的に推進していく準備をしていく		

地域の願い

地域と学校が一緒になって活動することで、児童の学びをより充実させたい

地域学校協働活動推進員の関わり方

大井小学校では16年前の2010年（平成22年）、大井町の人を教師（外部講師）とした授業がスタートした。その授業とは今年度も学習成果が「大井町芸能フェスタ、伝統文化発表会等」で披露された「伝統芸能を学ぶ総合的な学習（6年）」の授業である。

この大井小学校の活動は16年前からコミュニティ・スクールとしての学校づくりを進めていると共に「地域の願い」を実践に移していると捉える活動である。

更に今年度は学校経営全体構想、指導の重点に「探求的に地域から学ぶ教育の推進」を位置づけると共に「地域・保護者と共に歩むコミュニティスクール」として伝統芸能を学ぶ総合的な学習に加え防災教育活動等を位置づけてある。

これは地域の「学校と一緒に活動することで、児童の学びをより充実させたい」という願いを共有するものである。

こうした動きの中で「地域学校協働活動推進委員」として大井小学校の「地域・保護者と共に歩むコミュニティスクール」が順調に進んでいくための一助として活動していくと共に、来年度の「児童の学びの充実」に向けて地域学校協働活動を推進していく準備をしていくことであると捉えている。

平成7年度 大井小学校経営全体構想

<表1>

学校	恵 那 市 立 大 井 小 学 校		
教 育 目 標	夢と希望を持ち、かしこく、元気な子 お：思いやりのある子 お：お互いに学び合う子 い：命を大切にする子		
校風	元 気 規 律		
⇕			
学 校 経 営 方 針 と 指 導 の 重 点	○ 子ども・担任・保護者が共につくる温かな学校 1 さわやかな挨拶活動 2 温かな学級づくり ○ 算数科を軸とした学力の向上 1 習熟を大切にする授業 2 思考力を高める授業 ○ 探求的に地域から学ぶ教育の推進 1 地域の人に学ぶ総合学習 2 命を守る防災学習	⇔	地域・保護者共に歩む コミュニティスクール ○ 大井小学校 PTA スローガン 思いやりを育む ～自立と助け合い～ ○ 地域学校協働本部 1 伝統芸能を学ぶ総合的な学習 2 防災教育活動 3 ボランティア活動等

活動の工夫や効果

昨年度「地域学校協働活動推進員」として「大井小学校はコミュニティ・スクールである」と確信した、地域の人たちの授業（①伝統芸能を学ぶ総合的な学習 ②防災教育活動）を視察する中で、地域学校の願い「児童の学びをより充実させる」ためには「児童の学び」の内容を具体化させること。そしてその学びを「学校で行うこと」と「地域で行うこと」をはっきりさせることと考えた。それをまとめたのが次の＜表2＞である。

（平成6年度地域学校協働活動の取り組みP8・9参照）

1 今年度のまとめ

1. 児童の学びをより充実させる大井町大井小学校協働活動全体構想

(1) 児童が学ぶこと（付けていく力）

- ① 認知力
- ② 非認知力

(2) 認知力、非認知力を誰が主体となって児童にどのようにして付けていくのか

- ① 認知力：主に大井小学校の教師等の授業
- ② 非認知力：主に地域の人たちによる児童の体験学習

(3) いつ付けるのか：

認知力・非認知力とも児童が登校している学校の授業日（参加希望者のみは無）

児童の学びを充実したものにするために

＜表2＞

児童が付けていく力	① 認知力	② 非認知力
「認知力」「非認知力」とは？	テストで測れる頭の力、学力テストや知能検査などで測れる能力のこと	数値化しにくい心の力、テストの点数やIQでは測りにくい、内面的・社会的な能力のこと
具体例	記憶力、計算力、読解力、語彙力、IQ力等の知的な情報処理の力 知識・論理・記憶など学力的な面	やりぬく力（粘り強さ）、意欲、自信、自己肯定感、協調性、リーダーシップ 感情のコントロールなどの心の力 意欲、態度・感情・対人関係等内面的な面
誰がどのようにしてつけるのか	主に大井小学校の教師等の授業で	地域の人たちによる体験学習で（伝統芸能を学ぶ総合的な学習で実績あり）
いつするのか	児童が登校している時（有志のみはなし）	児童が登校している時（有志のみはなし）

2 大井町大井小学校協働活動を実践するために（今年度の歩み）

1. 児童と地域人による地域学校協働活動にむけて（学校への提案）

大井小学校では、令和2年の地域学校協働活動の構築に向けた取り組みが始まるずっと前から、学校支援活動として、学校の草刈り、木々の剪定、畑づくり等々、自分のできる範囲でして下さっている地域の有志がお見えになる。

また、伝統芸能を学ぶ総合的な学習などコミュニティスクールにおける非認知能力を付けていく児童の体験活動を直接指導して下さっている外部講師もお見えになる。

それゆえ「地域学校協働活動推進委員」として、何か活動を考えていくよりこの体制が順調に進んでいくための一助として存在していく方がよいのではないかと考えることもあった。

しかし地域学校支援活動推進委員ではなく地域学校協働活動推進委員として任命されている以上、協働活動からから目をそらせてはいけないという思いが常にあった。

そんな時、大井小学校での支援活動や会議等々で学校へ出かけることが多くなった中で、「これは？」と思うことが度々あった。それは、教頭先生と校務員さんによる校庭の草刈りである。

その理由を尋ねてみると「草刈り委託代は市から支給されるが、それだけではすべての草刈り作業は終わらない。残った作業は校務員さん一人では処理することが出来ないのでどうしても教頭先生の作業手助けが必要となっている。」とのことであつた。

その草刈り作業は、校務員さん、教頭先生の日常業務に多大なる負担をかけていることも分かった。

教頭先生に限って言えば教頭先生は職員室の担任と言われる。それは現場のあらゆる事務、調整を引き受ける立場にあるとともに、経営方針を現場レベルで具体化し、教員・児童・保護者・地域を繋ぎながら校務を整理する実務の中心である。これは教頭先生が大井小学校の児童に「認知力」「非認知力」をつけていく地域学校協働活動においては「認知力」をつける中心的な立場にある。

このための教頭先生の貴重な時間を草刈り作業が奪っていく。何とかしなければ児童、つまりは学校、地域の損失である。

こうした思いから、この草刈り作業を学校支援活動ではなく地域学校協働活動として少しでも解決していきたい。そうすれば大井小学校環境美化だけではなく、児童の自然と関わる環境美化体験活動（ふるさとを大切にする）にもなる思い「児童と地域人による地域学校協働活動」を 11 月中旬に学校に提案し、12 月末、職員会等で協議していただき了承された。

2. 来年度の地域学校協働活動へ向けて

(1) 第 1 回地域学校協働活動予備会議

- ① 日 時 : 令和 7 年 1 月 15 日(木)15 時 30 分より
- ② 会 場 : 大井小学校校長室
- ③ 参加者 : 校長 教頭 地域学校協働活動推進委員
- ④ 議 題 名 称 : 児童と地域人による地域学校協働活動（仮称）
 - i 名称 ii 活動内容 iii 参加者 iv 活動日 v その他

(2) 実施にむけて確認されたこと

- i 名 称 児童と地域人による地域学校協働活動（仮称）
- ii 活動内容 草刈りに出た雑草を木々などの肥料として活用
(校庭内の草刈りを地域の有志が行い、学校の環境委員会に属する児童が、その刈り取った草を委員会活動の一つとして、校庭の木の根元に肥料としてまく)
- iii 参 加 者 本事業に参加同意の地域の人(数名) 児童(環境委員 16 名)
- iv 活 動 日 5 月～11 月 児 童—月に 2 回火曜日
地域人—草刈り活動は学校の教育活動が行われていない休日等
に実施、月に 2 回(児童活動日の前週㊥か㊦)
・最初の活動日は五月の連休明けの火曜日
(顔合わせ、作業の説明・肥料づくりの説明等)
- v その他 作業の内容・活動の意図の説明等で児童の委員会活動日に参加することもある
(地域有志と児童との交流)

(3) 今後の課題(来年度の活動に向けて)

- ① 具体的な活動計画の作成
 - ・草刈り場所の確認と、活動に合わせた草刈り回数の決定等
 - ・草刈りに必要な道具等(草刈り機を含む)の確認
 - ・予算案の作成
- ② 以前から学校支援活動として草刈りなどの活動をされている方々との交流
(共同作業としての可能性)
- ③ ボランティア保険への加入
- ④ 小学生が行う雑草を活用する肥料づくり可か不可の確認(可能であれば地域の人と児童の協働活動として雑草を堆肥にする)
- ⑤ 参加する児童の実態把握

3 来年度以降の地域学校協働活動推進を目指して

来年度の活動は、その後の地域学校協働活動が大井小学校で出来ていくのか知るための活動でもある。様々な障害もあると考えられるが、＜表 2＞に沿って一つ一つデータを取り、地域の人たちに大井小学校校区における地域学校協働活動への参加を呼びかけることが出来るようなものにしたい。

ふるさとを愛し、学び続ける人を育てる

対象学校名等	大井第二小学校	対象学年	全学年
協働活動内容	第二小学校支援の会 第二小学校クラブ活動 大井町地域団体の活動に参加		

地域の願い

一人でも多くの地域の方とかかわる機会を作り、人のつながりを大切に、人にやさしく豊かな心を育む。

地域学校協働活動推進員の関わり方

- 1) 学校が必要とする支援を行う。
- 2) 学校が許す範囲内で地域の方に学校の活動に入って頂く。
- 3) 大井町には昔から子どもたちと関りを持つ多くの団体がある。その団体からの要請に応じて協力をする。

活動の工夫や効果

活動を行いやすくするために、大井町のスケジュール表(別添資料)を作成する。

活動実績(令和8年1月31日現在 人数は延べ人数)

≪学校支援≫

- ・授業参観日・引渡し訓練での駐車場整理 4回 21人
- ・剪定草刈り作業 6回 45人
- ・畑作り 5/14 2年生児童と恵那農高生 17人、地域から2名で春野菜の苗植え、以降地域の方2人中
心に管理をして頂く 10数回

≪クラブ活動・太鼓、ボッチャ、手芸、むかし遊び≫

- ・5/8 担当先生と地域の方との打合せ会議をはじめ 11回 147人

≪地域団体と協力≫

① 青少年育成町民会議

- 大井第二小学校 花植え活動 児童 26人 スタッフ・参加者 10人
- 大井小学校 花植え活動 児童 40人 スタッフ・参加者 10人

② 放課後子ども教室

- にこにこクラブボッチャ 児童 45人 スタッフ 13人
- しめ縄用青田刈り スタッフ 14人

③ 大井町防災リーダー会

- 土のうづくり スタッフ・参加者 12人
- 防災倉庫点検 スタッフ・参加者 15人

④ 大井町自主防災隊・防災リーダー会

- 大井町防災訓練(避難所設営訓練) スタッフ 40人 参加者 60人

⑤ 大井町芸能フェスタ実行委員会

- 大井町芸能フェスタ 来場者 333人 出演者 221人 スタッフ 29人

⑥ 大井町社会福祉協議会

大井小 5 年生のポッチャ教室

児童 42 人 スタッフ 4 人

大井第二小学校福祉交流会 1 年生・6 年生

地域参加者 22 人

大井小学校高齢者ふれあい交流会 5 年生

地域参加者 26 人

効果

どれだけの効果があったかはわかりませんが、地域の方と一緒に活動している時の子どもの姿は生き生きして楽しそうです。地域の方も子どもたちとのやり取りに笑顔があり、真剣さがありで良い機会が提供できていると考えます。

資料

大井町地域団体・学校年間計画表

月	地域	大井小学校	大井第二小学校	恵那東中学校
4		授業参観	授業参観	授業参観
5	大井小防災倉庫整備（防災リーダー会）			
	一斉美化作業（自治連）	引渡し訓練	引渡し訓練	引渡し訓練
	阿木川草刈り（自治区）	総合学習打合せ	畑作り（農高生徒と一緒に）	
		ペンギンクラブ	クラブ活動①	
6			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	土のう講習会（防災リーダー会）	花植え（青少年）	花植え（青少年）	
		総合学習オリエンテーション	クラブ活動②	
		総合学習①	畑管理	
		総合学習②	授業参観	
7		ペンギンクラブ	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	大井橋清掃活動（太鼓）	総合学習④	クラブ活動③	
	防災倉庫点検（防災リーダー会）	授業参観	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	レクリエーション（ふれあい）	総合学習⑤	畑管理	
	工場見学（市民三学）	ペンギンクラブ	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
8		総合学習⑥		
	青田刈り（ふれあい）			
9	総合防災訓練（自主防災隊）			
	親子防災ディキャンプ（青少年）	総合学習⑦	クラブ活動④	
		総合学習⑧	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
10		ペンギンクラブ	奉仕作業六年生	
	紙芝居 14 区シニア（市民三学）	ペンギンクラブ	クラブ活動⑤	
	ポッチャ大会（スポーツ協会）	総合学習⑨	クラブ活動⑥	
		総合学習⑩	剪定・草刈り	
11			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	岐阜市視察（市民三学）	総合学習⑪	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	地域ふれあいフェスティバル
	芸能フェスタ（実行委員会）	授業参観	クラブ活動⑦	授業参観
		総合学習⑫	授業参観	
		ペンギンクラブ		
12		総合学習⑬		
		総合学習⑭		
	しめ縄づくり（ふれあい）	総合学習⑮	クラブ活動⑧	合唱発表会
1	一斉パトロール（防犯パト）	総合学習⑯発表会	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	大井橋花植え・清掃活動（太鼓）	ペンギンクラブ		
2		ペンギンクラブ	クラブ活動⑨	
			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
			クラブ活動⑩	
3		授業参観	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
		ペンギンクラブ	クラブ活動⑪	
3			授業参観	
	大井橋花植え・清掃活動（太鼓）		クラブ活動⑫発表会	

大井町地域団体・学校年間計画表

月	日	地域	大井小学校	大井第二小学校	恵那東中学校
4	6	上矢作新田の桜まつり（太鼓）			
	7				第一ステージ「形」スタート
	8		入学式	入学式	入学式
	12	上矢作漆原春の例大祭（太鼓）			
	26		授業参観	授業参観	授業参観
5		大井小防災倉庫整備（防災リーダー会）			
	2				第一ステージ終了
	7				第二ステージ「繋」スタート
	9		東中学校区引渡し訓練	東中学校区引渡し訓練	東中学校区引渡し訓練
	14		総合学習打合せ	畑作り（農高生徒と一緒に）	
	15・16				一年生根ノ上研修
	20～21			根ノ上研修	
	25	一斉美化作業（自治連）			
	27		ペンギンクラブ		
	28～30				三年生東京研修
	29			クラブ活動①	
	29～30		修学旅行		
	30			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	31	阿木川草刈り（自治区）			
6			花植え（青少年）	花植え（青少年）	
	4		総合学習オリエンテーション		
	6				第二ステージ終了
	8	消防操法大会（自治連）			
	9			剪定・草刈り	第三ステージ「質」スタート
	10～11				二年生若狭研修
	11		総合学習①		
	12			クラブ活動②	
	12～13		根ノ上研修		
	16			プール開き	
	18		総合学習②	畑管理	
	20	運転講習会（防犯パト）			
	24		ペンギンクラブ		
	25		総合学習③		
	26			授業参観	
	27			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	28	土のう講習会（防災リーダー会）			
7		大井橋花植え・清掃活動（太鼓）			
		ワークショップ開始（のれん）			
	2		総合学習④		
	3			クラブ活動③	
	4			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	5	防災倉庫点検（防災リーダー会）	授業参観		
	9		総合学習⑤		
	15		ペンギンクラブ	畑管理	
	16		総合学習⑥		
	18	一斉パトロール（防犯パト）	夏休み前集会	一学期終業式	第三ステージ終了
	22～25		水泳教室・職員作業		
	26	レクリエーション（ふれあい）		にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
8	30	工場見学（市民三学）			
		青田刈り（ふれあい）			
		中学生防災リーダー交流（防災リーダー会）			
	23	上矢作ふさと祭り（太鼓）			
	29		夏休み明け集会	二学期始業式	第四ステージ「声」スタート
	31	総合防災訓練（自治連）			
	31	総合防災訓練（防災リーダー会）			

月	日	地域	大井小学校	大井第二小学校	恵那東中学校
9		親子防災デイキャンプ（青少年）			
	2～3			陶芸教室	
	3		総合学習⑦		
	10		総合学習⑧		
	13	阿木川草刈り（自治区）		畑作りと管理	
	16		ペンギンクラブ		
	18			クラブ活動④	
	26			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	27	みのじのみのり祭り（太鼓）		奉仕作業六年生	
	28	みのじのみのり祭り（自治区）			
10	28	武並神社例大祭（太鼓）			
	2			クラブ活動⑤	体育大会
	10				第四ステージ終了
	11		運動会	運動会	
	14				第五ステージ「改」スタート
	16			クラブ活動⑥	
	19	紙芝居１４区シニア（市民三学）			
	21		ペンギンクラブ	剪定・草刈り	
	22		総合学習⑨		
	24			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
11	26	ポッチャ大会（スポーツ協会）			
	29		総合学習⑩		
	30			生活科見学一年生	
		炊き出し訓練（防災リーダー会）			
		のれんコンテスト（のれん）			
				五平餅づくり四年生	
	5		総合学習⑪		
	6			生活科見学二年生	
	6～7			修学旅行	
	8		授業参観		
12	9	岐阜市視察（市民三学）			
	12		総合学習⑫	社会科見学四年生	
	15				地域ふれあいフェスティバル
	14			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	授業参観・第五ステージ終了
	18		ペンギンクラブ		第六ステージ「響」スタート
	19		総合学習⑬		
	20		六年生社会見学	クラブ活動⑦	
	21			社会科見学五年生	
	26			授業参観	
	27		総合学習⑭		
1	27～28		芸能祭・子ども展		
	30	芸能フェスタ（実行委員会）			
	3		総合学習⑮		
	5		総合学習⑯発表会	社会科見学六年生	
	7	しめ縄づくり（ふれあい）	ペンギンクラブ		
	9		ペンギンクラブ		
	12	イルミネーション設置（防犯パト）	五年生社会見学		
	18			クラブ活動⑧	合唱発表会
	19	一斉パトロール（防犯パト）		にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	20	大井橋清掃活動（太鼓）			
2	26		冬休み前集会	二学期終業式	第六ステージ終了
	28	消防団年末特別警戒（自治連）			
	1	新年初打ち（太鼓）			
	7	市神社七日市（太鼓）			
	8		冬休み明け集会	三学期始業式	第七ステージ「誇」スタート
	15			クラブ活動⑨	
	23			にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	27		ペンギンクラブ		
	29			クラブ活動⑩	
	30				授業参観
3	3	イルミネーション撤去（防犯パト）			
	13		授業参観	にこにこクラブ（放課後ふれあい）	
	19			クラブ活動⑪	
	20			授業参観	
	24		ペンギンクラブ		
3	5			クラブ活動⑫発表会	
	24		卒業証書授与式	卒業証書授与式	
	25			修了式	第七ステージ終了
	27	大井橋花植え・清掃活動（太鼓）			

* 大井第二小学校の赤字については、第二小学校支援の会の活動予定

心やすらぐ 心ひろがる 心つながる まち長島

対象学校名等	長島小学校・恵那西中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	地域自治区と連携し地域の各種団体との協働活動の中で、子どもを中心においた地域づくり。学校と地域をつなぎ、地域住民が参画できるような活動を促進する。		

地域の願い

長島の風土や歴史・伝統・文化をはぐくみ、「心の豊かさ」「人と人とのつながり」を大切にしていける地域社会を創っていくという長島町の地域計画に基づき、子どもたちが「長島に住んでよかった」「長島に住み続けたい」と思えるよう、安心して笑顔で元気に暮らせるよう、地域住民や地域の各種団体が協力し住民参画で子どもたちと関わる地域学校協働活動を目指していきます。

地域学校協働活動推進員の関わり方

活動は、学校と地域をつなぐ役割がほとんどで、学校運営協議会の「おさしまっこ応援団」として学校のニーズに合わせ、地域の人たちが学校に関わってもらえるよう各行事への参加募集などを行っています。また、地域の人々が学校と関わりを持てるよう、学校行事、学年の行事に地域の人々が参加・指導などに入れる環境作りを行っている。地域の行事については、縮小された行事が多い中、永田区の新しい取り組みとして区民に LINE での情報発信など若い世代が参加しやすい環境も少しずつではあるが始まっています。親子で地域に参加できる機会の創出が今後の課題です。学校・家庭だけしか関わりのない子どもたちに居場所としての地域の情報発信などを進めていく事が今後の課題1つです。

活動の工夫や効果

◆地域学校協働活動本部の主体活動

1) 小学校の校庭にタバコの吸い殻等が散乱して困っているということで、PTA などとは巻き込まず地域の方のボランティアを募り、「長島小グラウンドゴミ拾い大作戦！」として 2 学期開始時期にゴミ拾いを行う。また、地域広報紙や回覧板などで地域の皆さんのウォーキングや散歩コースに長島小グラウンドを入れていただく様、周知。地域の目で抑止してもらうようにしたところ、5 月ごろに比べグラウンドのゴミはかなり減った。

ゴミ拾い大作戦の様子



2) 12 月の読み聞かせは PTA で足りないところを地域の読み聞かせボランティアで補う。市民三学大井委員会の紙芝居隊にも地域連携活動として要請。毎回参加していただき、恵那の昔話など、郷土学習につなげた。

3) 6 年生の福祉体験事業として、中央乳幼児学級に参加。子どもたちが自ら考え選んだ本の読み聞かせや、乳幼児と一緒に遊びに参加。小さい子と触れ合うことが出来た。また、長島町内の 1 人暮らしの高齢者の方に手作りカードを作り、社会福祉協議会長島支部を通じて地域の民生委員さんに届けてもらった。また、12 月には地域住民との交流事業でボッチャや子どもたちが企画した遊びを行った。

また、1 年生の昔遊び体験では、長島町壮健クラブ連合に講師



手作りカード伝達の様子



を依頼、恵那市と地域連携協定を結んでいる中部大学の「中部大学 日本伝統文化推進プロジェクト」として伝統文化総合振興探究会の学生にも参加していただき子どもたちの指導をお願いして昔遊びの良さを伝える場作りの事業を行った。



昔遊び体験事業



長島花いっぱい事業①

4年生の「長島花いっぱい事業」でも、長島町壮健クラブ連合会の皆さんの指導のもとプランターに花植えを行い、長島小学校と恵那文化センターの間の小道フラワーロードにプランターを並べ、町民の皆さんに見ていただくとともにプランターを長島町の各施設に4年生が持参。子どもたちが地域と関わる事が出来た。



長島花いっぱい事業②（地域へ持参）



令和7年度つなぐカレンダー

4) 昨年に引き続き、小中学校、地域、各種団体の年間行事をカレンダーに入れた令和7年度地域学校協働活動「つなぐカレンダー」を製作し全戸配布。片面に1年分を掲載し、背景には長島小児童の書いた絵画作品を使い、一年中各家庭に掲示してもらうよう、より身近なものになるよう改善した。

5) 昨年度末より、他地域交流事業として、大井小、大井第二小と長島小児童のボッチャ交流会を合同で開催。他地域の子どもたちと一緒にボッチャをすることで交流が出来た。今年度も3月に開催することを計画している。



ボッチャ交流事業（令和7年3月開催）

◆地域団体との連携活動

長島小学校学林管理委員会、青少年育成町民会議、交通安全協会長島支部、交通・防犯パトロール隊、長島町自主防災会議、市民三学長島委員会、長島町体育協会など年間を通して様々な活動が学校と協働で行われており、地域が学校と関わり、子どもたちの安心安全や教育の一役を担っている。地域学校協働活動推進本部は長島地域自治区運営協議会内に置かれており、推進委員は運営協議会の一員として、毎月の会議に参加して情報共有、情報発信を行っている。また、地域の関連事業に参加している。

地域団体連携の主な活動



おもしろワークショップ 6/21（長島小）

長島町青少年育成町民会議・市子連長島支部



リコーえなの森秋見つけ（長島小）

リコーえなの森中山道里山協議会



デジタ（株）工場見学 8/8

市民三学長島委員会



ウエストンウォーク 4/25 (恵那西中) 安全確保



登下校時の安全確保と指導 随時 (長島小)
長島地域自治区運営協議会・交通安全協会長島支部



大井町・長島町合同防犯パトロール

長島町交通・防犯パトロール隊



防災訓練 5/23 (恵那北小)

長島町自主防災会議



発酵のまち半田を学ぶ 12/6
市民三学長島委員会



元旦マラソン 1/1
長島町スポーツ協会



防災Day 11/8 (長島小)
長島町自主防災会議
長島町防災士の会

1. 2年親子行事 (長島小)



6/18 6/20
ボッチャのまちおさしま
長島町青少年育成町民会議



Ciao カフェ

1/21 恵那西中1年生DIG
長島町自主防災会議
長島町防災士の会



令和7年度 長島小学校区（恵那西中学校区）地域学校協働活動本部活動

◆主体活動

No.1

期 間	活動内容	実施状況	内 容
8月30日	長島小学校グラウンドゴミ拾い大作戦	朝7時30分より1時間、地域の23名でゴミ拾いを実施。長島スポーツ少年団の子どもたちも20名参加してくれた。	日頃から地域のみなさんにお散歩やウォーキングのコースに入れていただいている効果もあり、ゴミ袋1袋分で済んだ。スポーツ少年団の皆さんも参加し「きれいにしてくれてありがとうございます」とお礼に来てくれた。
9月17日	講師派遣（浴衣着付け）	恵那西中1年F組4名に浴衣着付けと簡単なマナー講座を実施	学校からの要請で地域より講師を派遣。
12月2日3日	読み聞かせボランティア募集 長島小学校	PTA以外の地域のボランティア募集を呼び掛け	2日間で各学年に読み聞かせを行った。PTA、地域のボランティアが参加。2日間で8名のボランティアをコーディネートした。しづろく大井宿に依頼して郷土の昔話の紙芝居を読んでもらい、地域間交流も行った。
12月2日	4年生長島町花いっぱい事業（環境事業）	長島町壮健クラブ連合会の方々に指導していただき、4年生がプランターに花植え、町内各施設にプランターを持参	4年生と長島町壮健クラブ連合会のメンバーで感謝の気持ちを貼ったプランターに花植えをし、校庭と文化センターの間の道（フラワーロード）沿いに並べた。また、長島町内各施設（文化センター、恵那警察署など）にプランターを持参し感謝の気持ちを伝えた。
12月8日	1年生昔遊び体験事業	子どもたちと地域の遊びを結ぶ事業	長島小学校1年生が、昔遊びを体験する授業をけん玉・お手玉・めんこ・こまなど地元の遊びも含め、長島町壮健クラブ連合会の皆さんに指導していただいた。また、恵那市と地域連携協定を結んでいる中部大学の「中部大学 日本伝統文化推進プロジェクト」として伝統文化総合振興研究会の学生にも参加していただき子どもたちの指導をお願いした。
12月10日	6年生福祉事業	6年生の児童と地域住民の交流事業	「自分たちの地域を理解して、自分たちに何ができるか考えよう」をテーマにした総合学習の一環で、長島町の民生委員・児童委員やサロンの方々、独居の方を招き、6年生が自ら企画・進行を担当。ポッチャや趣向を凝らした遊びを実施。誰もが住みやすい地域作りを勉強している6年生は、日頃から見守り活動をしている民生委員の方や地域の方へ質問し、住みやすい地域についての理解を深め、自分たちが地域で果たせる役割について真剣に考える貴重な機会となった。
12月		地域の高齢者に向けて手作りカードを作成	6年生が長島町内の一人暮らしをしている高齢者約150名分の手作りカードを作り、社会福祉協議会を通じて地域の民生委員や福祉委員を経由して届けた。
3月予定	つなぐカレンダーの製作	地域と学校の年間行事を1枚のカレンダーに入れ、長島町全戸に配布	毎年恒例のつなぐカレンダーを製作予定。現在各地区、学校に原稿依頼中。背景には長島小学校児童の絵画を使い、子どもたちの作品も地域の皆さんに見ていただけるようにした。
通年	ポッチャクラブの講師コーディネート	小学校の4・5・6年生が参加するクラブ活動にポッチャクラブが出来たことに伴う講師派遣	ポッチャのまちおさしまに講師依頼年間10回の活動に毎回2名の講師を派遣してもらい子どもたちに技術指導を行った。
6月18日 6月20日	長島小学校親子行事にポッチャ実施	1・2年生の親子行事をポッチャ体験にして、講師を派遣	ポッチャのまちおさしまと長島町青少年育成町民会議に講師依頼。2年生が6月18日1年生が6月20日に実施。活動に毎回6～8名のメンバーに指導してもらう。（各学年親子130名以上が参加）親子で体験・交流が出来た。
2026年3月14日	他地域交流事業	大井小・大井第二小・長島小のポッチャ交流事業	3校にはポッチャクラブがあり、ポッチャクラブ所属の児童を中心にポッチャを通して3校の児童と大人の交流を図る。

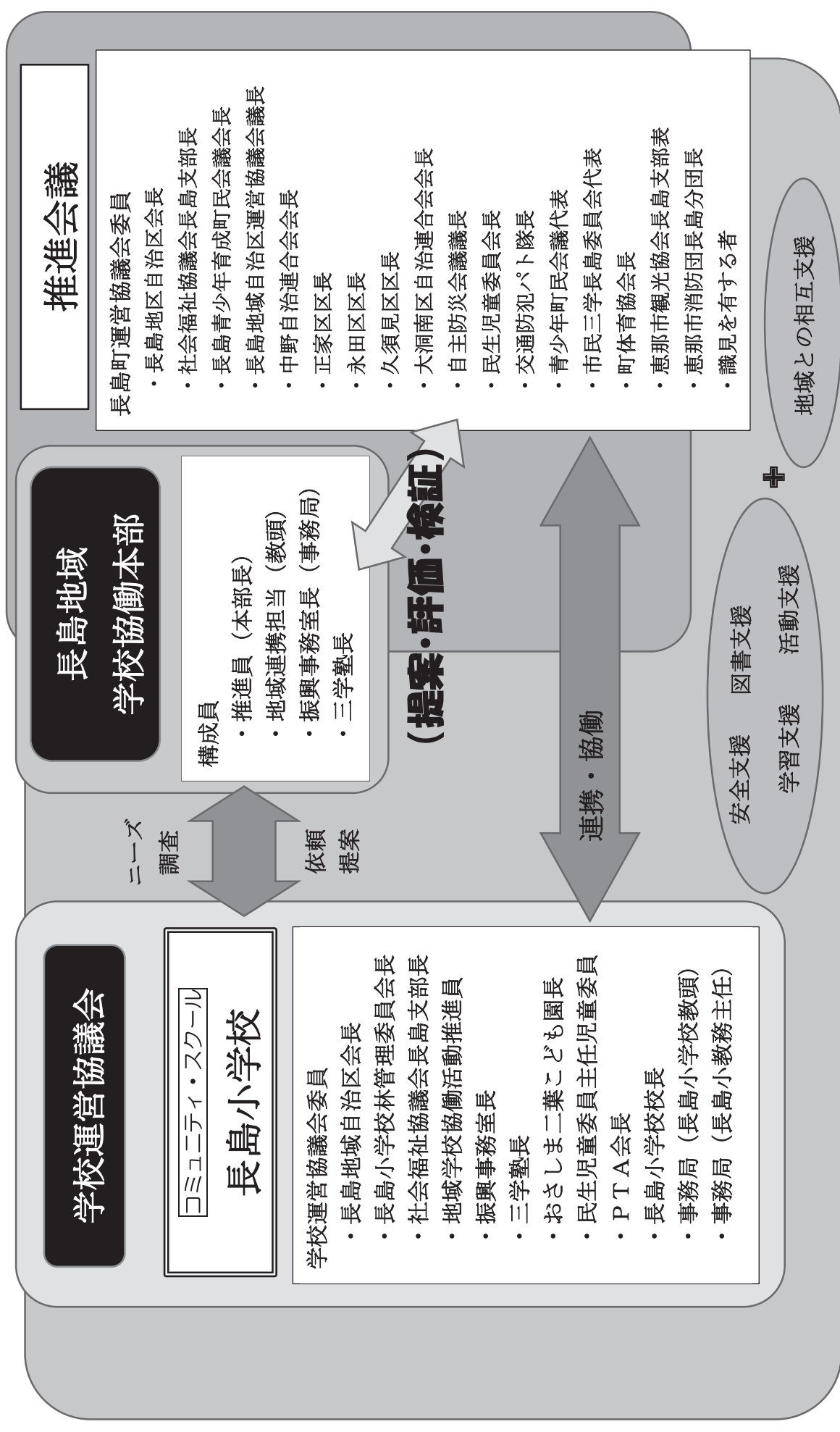
◆主な地域団体連携活動

No.2

期 間	活動内容	連携団体	実 施 内 容
4月～通年	交通安全パトロール。街頭指導他	交通安全協会長島支部	交通安全運動期間に合わせた街頭指導や、青パトによる巡回活動。毎月1日15日の朝の街頭指導。始業式、終業式、下校時の見守りなど。
4月～通年	リコーえなの森保全活動	リコーえなの森中山道里山協議会	定期的に下刈り、散策道の整備を行い長島小学校の子どもたちが野外授業に利用できるようにしている。1年生が11月7日に「秋見つけ」に行き、森の散策やどんぐりなどを使ったクラフト作りなどを行う。
4月～通年	学林の整備・間伐体験のこぎり体験などの体験授業	長島小学校学林管理委員会	年間を通して学林の下刈りなどの整備。4月に学林についてのお話を聞き、5月5年生の学林遠足、10月14日5年生の鋸体験、11月6日学林の間伐作業体験など様々な体験活動を指導・サポート。
5月～12月	未就園児と子育て中のママ達を対象におしゃべりサロンを開催	ciaoカフェ	地域の子育て中のママたちが情報交換や悩み相談、おしゃべりができるサロンをおさしま二葉こども園2階生涯学習室を使い開催。様々な講師に来てもらいお茶を飲みながら、リラックスできるサロンを年7回開いている。託児もしてもらえるのでママたちがゆっくりと過ごす空間を作っている。
通年	三世代美化活動、夏祭り、小学校グラウンドの草取り、マレット大会、ウォーキング大会、どんど焼き	長島町各区主催地域行事	長島町各区で子どもたちも参加する様々な行事を行っている。マレット大会、夏祭りなど子ども会とタイアップして地域行事に子どもたちが参加する環境づくりを行っている。
4月25日	ウエストンウォークの交通安全確保	長島地域自治区運営協議会 交通安全協会長島支部	恵那西中ウエストンウォークで岩村駅からの帰路3か所で交差点横断の安全確保で誘導担当。
7月・12月	大井町・長島町合同防犯パトロール	長島町交通・防犯パトロール隊	夏休み・冬休み前大井町と合同でパトロール活動。年末合同一斉パトロールでは、恵那西中・恵那東中のMSJリーダーズも参加。
5月23日 11月8日 1月21日	防災訓練	長島町自主防災会議 恵那市消防団長島分団 長島町防災士の会	5月23日 恵那北小学校全校での防災訓練を実施。11月8日 長島小学校地域防災Dayで全校生徒保護者を対象に様々な防災活動指導。1月21日恵那西中1年生にDIG訓練指導。
6月21日	おもしろワークショップ開催（長島小）	長島町青少年育成町民会議 市子連長島支部 A・S・O・B・O！プロジェクト	青少年育成町民会議、市子連長島支部などが中心となり長島小学校体育館にて科学工作を主体としたワークショップを開催、350名程の参加。
7月24日	裁判所の傍聴と検察庁見学	長島町青少年育成町民会議 三郷町青少年育成町民会議 武並町青少年育成町民会議	恵那西中学校生徒35名と保護者、教員、推進委員ら10名が名古屋地方裁判所の裁判の傍聴と名古屋地方検察庁の見学した。（3町共催）
8月7日	デジタ（株）工場見学	市民三学長島委員会	地域の企業の素晴らしさを地域住民や子どもたちにも知ってもらい、将来恵那市で働きたいと思ってもらえる様という企画で毎年夏休みに実施。参加した小学生全員、こんな会社で働きたいという感想であった。
6月18日 6月20日	1年生2年生親子行事ポッチャ体験会	ポッチャのまちおさしま 長島町青少年育成町民会議	長島町で進めているポッチャ普及活動として学校に親子行事としての実施を協議し体験会行う。
9月30日 11月18日 12月16日	長島小・恵那北小放課後クラブ ポッチャ体験・おもしろ工作	ポッチャのまちおさしま A・S・O・B・O！プロジェクト	ポッチャ普及活動として子どもたちに指導。また、工作などを指導。
10月26日	ポッチャ大会	長島町体育協会	ポッチャ普及活動として小学生からお年寄りまで18名が参加。
11月6日～18日	中山道のれんコンテスト	中山道のれんコンテスト実行委員会 （大井町、長島町連携事業）	毎年開催される、のれんコンテストに小中学校やこども園児が作品を出し、地域の中山道沿いの家屋の玄関に掲げることで、地域の皆さんに子どもたちの作品を見てもらう機会が出来た。
12月4日	学習会 「発酵のまち半田を学ぶ」	市民三学長島委員会	恵那市は、令和5年に開催された「全国発酵サミット」を機に、地域の発酵食文化の継承や地産地消の拡大を目的とした発酵のまちづくりに取り組んでいる。今回は発酵のまちの先進市である半田市を巡り発酵のまちづくりを学んだ。
2026年1月1日	元旦マラソン	長島町体育協会	小学生から大人まで116名が参加、長島町内の2コースを走った。

※地域学校協働活動推進委員は、長島小学校運営協議会、恵那西中学校運営協議会のメンバーとして会議行事に参加。

長島地区地域学校協働活動組織図



ふるさと東野に誇りをもち、東野を軸足に将来の夢に向かう東野の子を育成

対象学校名等	東野小学校	対象学年	全学年
協働活動内容	・地域と学校が「願い」を共有し、地域住民が積極的に学校に関わる。 ・東野を大切に思うよき大人と出会い、地域のよさを体験を通して知る。 ・ふるさとへの誇りと愛着心を醸成し、東野を軸足に将来の夢に向かう子を育てる。		

地域の願い

東野の自然環境の豊かさや保古の湖・阿木川ダム湖などの観光資源への関心、縄文期の遺跡をはじめとした様々な歴史ロマン、地歌舞伎や東野音頭等の伝統芸能の継承などの郷土学習を通して、地域を愛する心を深め、地域の担い手としての自覚を高められるようにする。

地域学校協働活動推進員の関わり方

安全支援部会	学習支援部会	活動支援部会	図書館支援部会
・東野交通安全協会 ・東野消防団 ・壮健クラブ東雲連合会 ・東野小学校 PTA ・東野こども園育成会	・東野開発振興会 ・東野生産森林組合 ・東野農地管理組合 ・JA ひがしみの ・市民三学東野委員会 ・阿木川ダム事務所	・東野青少年育成会議 ・東野歌舞伎保存会 ・壮健クラブ東雲連合会 ・東野小学校 PTA ・東野こども園育成会	・読み聞かせサークル ちちんぷい ・東野コミュニティセンター

推進員が主に橋渡しや窓口になり、積極的に活動に関わる

※年間の活動は別紙資料のとおり

・登下校の見守り ・通学路点検 ・防犯教室、防災訓練 ・校舎内外の整備 ・グラウンドの除草 ・困りごとへの相談	・野菜の苗植え ・田植え、稲刈り脱穀 ・味噌、豆腐作り ・昔の遊び ・全学年による文化祭 音楽祭への参加	・歌舞伎クラブ ・東野探検クラブ ・郷土料理クラブ ・ボランティア活動 ・こども園との交流 ・ホテル学習幼虫放流	・読書活動支援 読み聞かせ ・図書の整備 ・図書の本と関連した観劇
--	--	---	---

活動の工夫や効果

【地域の専門家の力を活用】

様々な専門的知識と技能を習得した先達に適材適所な依頼を行い、力を充分に発揮してもらった事は大変効果的であった。

【推進員が積極的に各団体と連携】

各団体と学校、各団体相互の連携の橋渡しを推進員が積極的に行うことで年間を通してスムーズな活動ができた。子ども達は地域を良くしたい、自分を役立てたいという地域貢献の念を育み、小中学生は22名が地域の行事にボランティアスタッフとして主体的に参加した。歌舞伎クラブも14名を数え、東野歌舞伎公演では大人顔負けの熱の入った演技で来場者から大きな賛辞をもらった。夏祭りの東野創作ダンスでは多くの小学生が踊り、東野音楽祭では全校児童による合唱が多くの人の感動を呼んだ。

令和7年度 東野小学校活動支援ボランティア年間実績 Ver.6

東野地区地域学校協働活動実績

ふるさと東野に誇りを持ち、東野を軸足に将来の夢に向かって進む『東野の子』

2026/1/30

		安全支援部会		学習支援部会		活動支援部会		図書館支援部会			
各部のめざす姿		自ら安全を判断し 元気に登校する 『東野の子』		ふるさと東野を学ぶ良さを 味わう『東野の子』		東野に感謝し、東野に貢献 する『東野の子』		読書に親しみ、心を 豊かにする 『東野の子』			
		登下校の見守り		地域総合支援		ボランティア支援		読書活動支援			
		通学見守り 防犯見守り等		生活科・各教科 総合的な学習の時間		高学年のボランティア参加 等		読み聞かせ			
		校舎内外の整備		志学習支援		伝統芸能支援		図書整備支援			
		草刈り・ペンキ塗装 グラント除草等		生き方学習 先人学習・進路学習		歌舞伎等					
		通学路点検・防災等		家庭教育支援		こども園との交流					
		通学路点検 防災訓練等		家庭教育諸行事 昔の遊び学習等		1年・5年生との活動・交流					
支援団体		交通安全協会 シルバー人材		東野開発振興会 東野生産森林組合		東野青少年育成会議 東野歌舞伎保存会		ちちんぷい 家庭教育学級委員			
		壮健クラブ東雲連合会		JAひがしみの・東野農地管理組合		東雲連合会・コミセン・こども園					
		P T A ・ 消防団		市民三学・地域講師		郷土歴史・自然探検(地域講師)					
各月活動内容・担当部部署等	4月	4/18(金)	交通安全教室			4/23(水)	探検・料理・歌舞伎クラブ	図書館の整備			
	5月	PTA交通安全・挨拶運動		5/12(月)	1年	野菜苗植え	5/8(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ			
				5/13(火)	2年	野菜苗植え	5/15(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ			
		5/1(木)	防犯教室 (たんぽぽ班)	5/20(火)	4・5年	田植え	5/29(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ (東野探検クラブ)			
		5/18(日) 資源回収		5/26(月)	2年	さつま芋苗植え		(郷土料理クラブ)			
		5/21(水)	通学路の点検	5/30(金)	4・5年	稲成長調査		(歌舞伎クラブ)			
	6月	PTA交通安全・挨拶運動		6/2(月)	3年	大豆種まき	6/6(金)	花壇花植え・6年(東雲会)	6/4(水)	全児童	読み聞かせ
				6/4(水)	4年	へちま植え	6/12(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ			
				6/16(月)	4・5年	稲成長調査	6/14(土)	ホタル祭り(青少年育成)			
								雨天中止			
	7月	PTA交通安全・挨拶運動		7/7(月)	4・5年	稲成長調査	7/26(土)	マスつかみ(青少年育成)	7/2(水)	全児童	読み聞かせ
	8月	PTA交通安全・挨拶運動					8/9(土)	夏祭り(振興会)			
		8/10(日)	地域環境美化								
		8/31(日)	市防災訓練								
		校舎内外の草刈(東雲会)									
	9月	9/20(土)	学校環境美化	9/11(木)	4・5年	稲成長調査	9/11(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ	9/3(水)	全児童	読み聞かせ
				9/12(金)	4・5年	稲刈り					
				9/19(金)	3年	栗選果場					
				9/25(木)	4・5年	脱穀					
	10月	PTA交通安全・挨拶運動		10/3(金)	3年	農高栗圃場	10/26(日)	スポーツフェスティバル(振興会)			
				10/21(火)	5年	間伐体験(東野生森)		雨天中止			
				10/27(月)	2年	さつま芋収穫					
	11月	PTA交通安全・挨拶運動		10/27(月)～ 11/3(月)	全学年	文化祭	11/7(金)	花壇花植え・6年(東雲会)	11/5(水)	全児童	読み聞かせ
				11/1(土)	全学年	音楽祭	11/13(木)	探検・料理・歌舞伎クラブ			
		11/9(日)	資源回収	11/7(金)	2年	焼き芋	11/19(水)	探検・料理・歌舞伎クラブ			
							11/23(日)	東野歌舞伎(保存会)			
							11/28(金)	クラブ発表会			
	12月	PTA交通安全・挨拶運動		12/1(月)	3年	大豆収穫	12/24(水)	1年生とこども園交流	12/3(水)	全児童	読み聞かせ
				12/8(水)	4・5年	収穫祭					
	1月	PTA交通安全・挨拶運動		1/14(水)	3年	味噌・けんこつ づくり	1/16(金)～ 1/31(土)	ふるさと書初め展(青少年)	1/14(水)	全児童	読み聞かせ
							1/24(土)	ふれあい餅つき大会(青少年)			
	2月			2/5(木)	3年	豆腐作り	2/4(水)	5年生とこども園交流	2/4(水)	全児童	読み聞かせ
				2/17(火)	1年	昔の遊び	2/20(金)	2年生校外学習・幼虫放流			
				2/19(木)	6年	記念植樹					
	3月								3/4(水)	全児童	読み聞かせ
		地域行事		地域行事		地域行事		毎月第一水曜日			

東野地域の「未来の担い手」を育むサポート体制図

東野小学校

【教育目標】

豊かで明るくたくましい東野の子

■ 学校長

- ・ 学校運営基本方針
- ・ 学校経営教育活動

- ・ 説明
- ・ 承認

- ・ 意見・提案
- ・ 活動支援

東野小学校学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)

～ふるさと東野に誇りを持ち、東野を軸足に将来の夢に向かう東野の子の育成～

- 学校運営協議会長 (東野開発振興会長)
- ・ 地域学校協働活動推進員
- ・ P T A 会長
- ・ 地域講師代表
- ・ 三学塾塾長
- ・ 青少年育成会 議 会 長
- ・ 振興事務所 長
- ・ 交通安全協会 支 部 長
- ・ こども園 長
- ・ 主任児童委員 (地域ボランティア)
- ・ 学校 長
- ・ 事務局 (地域連携担当：教頭)

- 活動支援部会
- ・ ボランティア支援
- ・ 伝統芸能支援
- ・ こども園との交流

- 安全支援部会
- ・ 登下校の見守り
- ・ 校舎内外の整備
- ・ 通学路の点検等

- 学習支援部会
- ・ 地域総合支援
- ・ 志学習支援
- ・ 家庭教育支援

- 図書館支援部会
- ・ 読書活動支援
- ・ 図書整備支援

4 質の高い教育を
みんなに



■ 東野小 P T A

東野地域学校 協働活動本部

- ・ 協働活動推進員
- ・ 地域自治区会長
- ・ 振興事務所 長
- ・ 三学塾塾長
- ・ 地域連携担当 (東野小教頭)

協力
連携

まちの活性化に向け
て子どもの参画

未来を担う子どもの
育成・支援

東野地域自治区 (東野開発振興会)

【キヤッチフレーズ】

明るく元気なまち東野

■ 会長

- ・ 人と地域をみんなで結ぶ
- ・ 歴史、文化を伝え育む
- ・ 自然を生かし暮らしを守る

各種団体との
連携、協働→

← 地域計画の
実現、達成

■ 地域の活動団体 (順不同・敬称略)

- ・ 東野青少年育成会議
- ・ 市民三学東野委員会
- ・ 交通安全協会東野支部
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 東野歌舞伎保存会
- ・ 壮健クラブ東雲連合会
- ・ 社会福祉協議会東野支部
- ・ 東野体育協会
- ・ 消防団東野分団
- ・ 東野各生産森林組合
- ・ 東野農地管理組合
- ・ 各用水管理組合
- ・ 各農業関連団体
- ・ 各種ボランティア組織
- ・ ちちんぷい
- ・ その他多様な団体

11 住まいるまちを
まなびにつなぐ



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



地域全体で「未来の担い手」を育み、まちを活性化する
【地域に住むすべての人】

恵那 中学校

連携

令和7年度のまとめ

地域に根付き、地域に貢献する子供を育てよう。

対象学校名等	三郷小学校・恵那西中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	●地域学校協働本部発足（自治区運営委員＋小中学校運営協議会員）（R4.1.13） ●既存の組織や団体が学校と関わっている活動を継続して実施。（活動集発行） ●学校の求める地域指導者やボランティアの派遣活動。 ●通学路の草刈り活動を実施（R7.9.23）。 ●下校時のあいさつ・見守り活動を始めるよう企画しボランティアを募集した。		

地域の願い

- 人口減少の進む三郷において、地域を支え応援してくれる子供を育てていきましょう。
 - この地域に住んでくれればうれしいのですが、この地域を離れても、育った地元に貢献してくれるよう、故郷への愛着を養っていきましょう。
- ⇒現在行われている活動を、相互に連携したり、協力し合ってより効果の高いものを目指す。

地域学校協働活動推進員の関わり方

- ・小中学校の学校運営協議会委員にもなっており、地域との連携役となっている。
- ・定期的に学校へ出向いて子供達の様子を見、学校との連携をとっている。このため、学校からの依頼や困りごとへの対応はできている。
- ・地域で協働活動の説明はしているが、団体間の相互連携などの調整まではできていない。

活動の内容、工夫や効果

【活動の内容】

- ① 学校が地域指導者を活用（従来より実施）
歌舞伎・ボランティア・太鼓の各クラブ指導、畑や学習田などの指導、命の教育や焼き芋活動、糸車体験などを地域指導者が行っている。（学校応援団として）
- ② 学校の要請に応じた指導者の派遣
懇談会時の児童の見守り活動（4/26、7/11、2/20）のほか、3年生の茅葺の家見学（5/28）、中国語の通訳者の紹介などを行った。
- ③ 青少年育成町民会議、スポ少、学童保育や子ども教室などのほか、市民三学委員会など、様々な団体が子供達に関わった活動を展開している。
・・・町内の各種団体の活動集をまとめて発行している。
- ④ 三郷町の協働活動として、秋の通学路草刈り活動（9/23）を行ったほか、新たに下校時のあいさつ・見守り活動を展開するように事業計画を調整し、活動のボランティア募集を行った。



9/23 通学路草刈り

【効果】

- 多様な団体や大人が関わって、地域活動が展開され、子供達の記憶に深く残っている。

【今後の課題】

- 小学校を過ぎると、途端に地域での活動が無くなるので、中学生以降の地域活動を創り出す。
- 子供達に関係する団体などの活動が、相互に連携し、より効果の高いものにしていく。
- “地域づくり”として児童生徒を巻き込んだ三郷の事業に取り組んでいく。

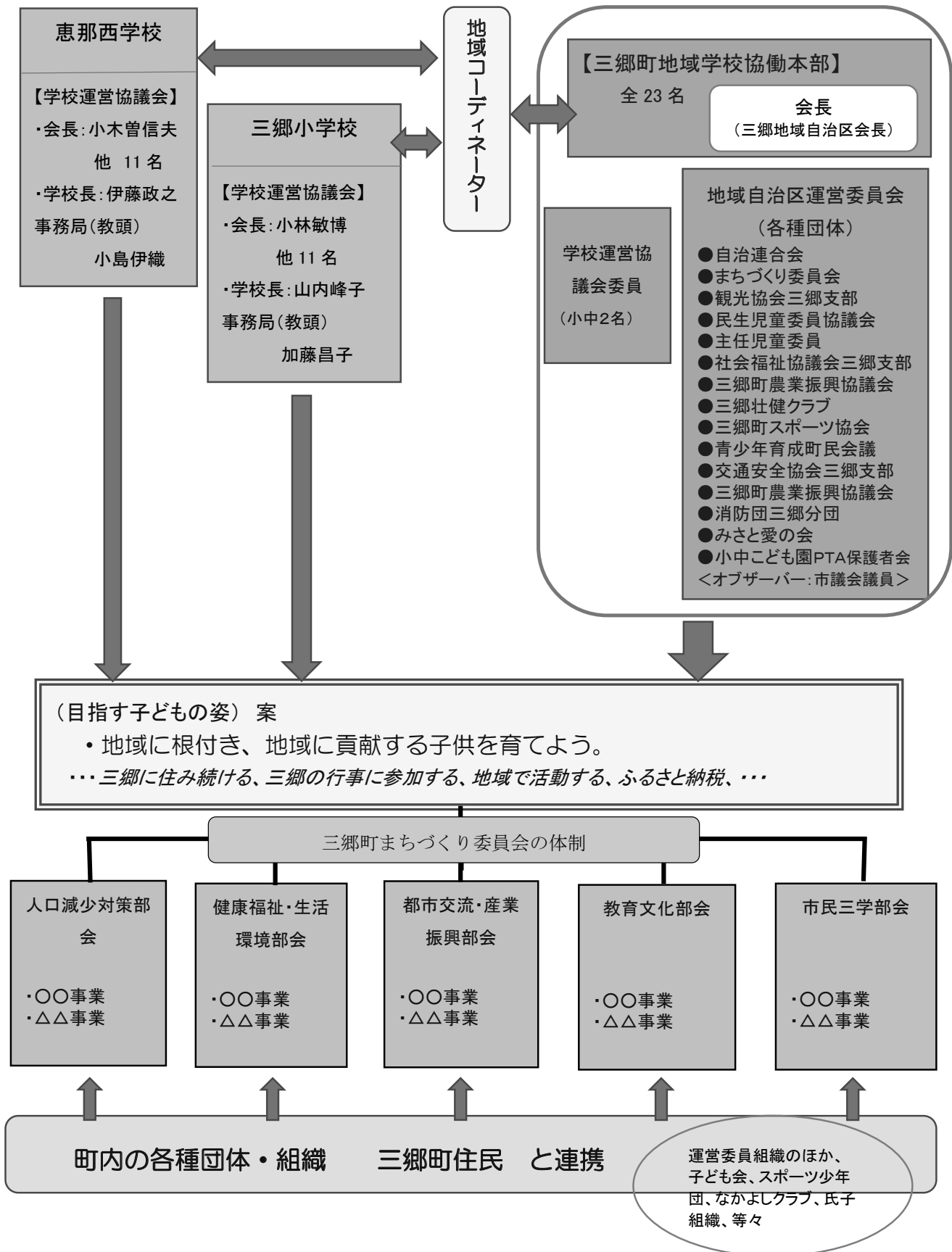
令和7年度 三郷地区地域学校協働活動実績

2026/2/6 時点

期日	曜	活動名	概要	参加人数等
令和7年 4月25日	金	恵那西中WWE応援	中学生のウォーキングの安全対策活動	安全協会他11名で対応
4月26日	土	小学校での見守り活動	学級懇談会時の児童の見守り	4名で対応
5月12日	月	自治区運営委員会(本部)No.1	協働活動本部の説明、R7の活動計画の説明	委員24名
5月15日	木	サツマイモの苗差し	深瀬営農組合の指導により1・2年生がサツマイモの苗差し	営農組合3名 児童31名+教員2名
5月21日	水	学習田の田植え	深瀬営農組合の指導により5年生が田植えを実施	営農組合他5名 児童18名+教員2名
5月28日	水	茅葺の家の見学	3年生の郷土を知る学習に、茅葺の家を見学。経歴や施設の説明をした。	児童15名+教員1名
6月25日	水	令和6年度の団体活動集発行	町内各種団体の活動のまとめを発行・配布	250部作製 町内回覧・役員配布
7月6日	日	町内一斉環境美化作業	町内の草刈りやごみ拾い (町自治連合会主催)	町内一斉
7月11日	金	小学校での見守り活動	学級懇談会時の児童の見守り	4名で対応
8月21日	木	東農地区社会教育振興協議会研修会参加(瑞浪北中学校)	コミュニティスクール、地域学校協働活動の発表と交流	推進員、校長先生参加
9月9日	水	学習田の稲刈り	深瀬営農組合の指導により5年生が稲刈りを実施	営農組合他5名 児童18名+教員2名
9月16日	火	県地域学校協働活動フォーラム	Zoomにより研修(文部科学省CSマイスターの講演と下呂の実践報告等)	推進員
9月16日	火	町三役会	通学路の草刈り活動の依頼 ⇒ 地域への回覧・PTAへの依頼	三役8名
9月21日 9月23日	日 火	町内草刈り・通学路の草刈り	町内地区の一斉草刈り作業に合わせて通学路の草刈り活動	西中通学路は11名で実施
10月24日	金	自治区運営委員会(本部)No.2	草刈り活動の実績報告	
10月14日	木	サツマイモ掘り	深瀬営農組合の指導により、1・2年生による5月に植えたサツマイモの収穫	営農組合3名 児童31名+教員2名
10月31日 ～11月2日	金 ～日	三郷町文化祭(展示)	三郷コミュニティセンターで、こども園・小学校・中学校のほか、地域住民の322点の展示をコミセンで行った。	観覧者数:352名 展示出品者:213名
11月1日	土	三郷町文化祭(ステージ)	小学校体育館で学校の児童の5つのクラブと低学年の発表と共に、地域の6団体がステージ発表を行った。	観覧者数:210名 ステージ出演:152名
12月3日	火	焼き芋会	みさと愛の会による焼き芋会。 1・2年生の他に、全校児童へ提供。	みさと愛の会4名
12月17日	水	町三役会	あいさつ・見守り活動の企画の提案	
12月22日	月	町まちづくり運営委員会	あいさつ・見守り活動の企画の提案	
令和8年 1月8日	木	自治区運営委員会(本部)No.3	あいさつ・見守り活動の企画の提案 了承⇒ ボランティアの募集へ	
2月20日	金	小学校での見守り活動	学級懇談会時の児童の見守り活動	5名で対応

* 上記の他、学校の応援団として、クラブ活動の他いろんな方が支援活動をしています。

「三郷に根付く子ども」を育てるサポート体制図



ふるさとを愛し ふるさとを誇りに思う 武並の子

対象学校名	武並小学校・恵那西中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域にある諸団体と連携して多様な活動・継続的な活動を行う。		

地域の願い

地域の自然・文化や子供たちのために活動する大人の姿に触れることで、ふるさとのよさに気づき、ふるさとを誇りに思う子供に育ってほしい。また、様々な活動を通して、自己有用感を高め、人と人とのつながりを大切にしたい生活を送っていくことを願っている。

地域学校協働活動推進員の関わり方

学校運営協議会で話し合われる「児童の姿」を具現するために、具体的な活動を進める実行組織として「地域学校協働活動推進委員会」を位置づけている。統括コーディネーター（推進員）と2人の地域コーディネーター、学校代表（教頭）が役員会を構成している。推進員は、自治区運営協議会長・藤及び竹折区協議会長・学校等との連絡調整を図り、地域全体が関わる活動へのお願いや地域の皆さんにボランティア活動への参加依頼、活動日の出欠確認、活動の記録等々を行っている。又、広報「たけなみ」に写真を掲載し、毎月の活動報告をしている。

活動の工夫や効果

◆地域活動への参加

- ・「夏休みラジオ体操」では、各自治会長と青少年育成町民会議（各家庭に案内文を配布）が呼びかけ、地域の実情に応じた方法により全地区で実施した。学校はラジオ体操とその会の進め方の指導を事前に行った。祖父母、保護者、中学生、園児等の参加もあり、地域の皆さんが顔見知りとなり、互いに言葉を交わすよい機会となった。
- ・「地域環境美化運動」では、各自治会・学校・青少年育成町民会議から働きかけることにより児童に活動が定着してきている。



◆継続した見守り活動

「登下校時の見守り活動」では、ボランティアの方との対面式（5月）と感謝会（3月）の実施等により、安全な登下校への意識と心の触れ合いの場として位置づいている。なお、「登下校時の見守り活動」には毎日35人～40人の方が参加されている。

◆地域学習（ふるさと学習）

- ・本年度の「ふるさと学習（中山道を歩く）」は安全面を考慮してコースを変更し、中山道保存会の方のご尽力で下街道において3年生と6年生が学んだ。子供たちの武並の新たな発見につながった。
- ・道笛保存会の方のご尽力で、6年生において道笛を作るところから始め、後半は2月の文化発表会へ向けての演奏練習を行った。当日の演奏には多くの地域の方の参観があり、地域の方とのよい交流の時間となった。



◆その他「地域学校協働活動推進委員会が実施した活動」

読み聞かせボランティアや算数ボランティア等、地域人材の活用及び地域団体との連携等により、多くの方に参加していただき、整った環境のもと、子供たちがコミュニケーションをとろうとする姿など、様々な面において意欲的な姿が見られ、充実した学校教育活動につながった。



令和 7 年度

武並地域学校協働活動内容

【学習支援】

活動内容	関係団体	日程等
読み聞かせ	読み聞かせボランティア どんぐりの会	毎月第一火曜日、8:15-8:30 年間 10 回 4 月は PTA 総会時の 1・2 年生への読み聞かせ 6 月、11 月は PTA と一緒に実施
算数ボランティア	算数ボランティア 	水曜日、13:45-14:30 1 年…8 回、たし算・ひき算・検定 2 年…9 回、たし算・ひき算・かけ算・九九検定 *継続した取り組みにより、一人一人の成長を認めながら行っている。
家庭科ボランティア	家庭科ボランティア 	5 年…4 回、ミシンの使い方・ナップサック作り 6 年…2 回、ミシンの使い方・エプロン作り *子供たちへものづくりのよさを伝える場にもなっている。
花壇ボランティア 昔遊び等	上の洞げんきクラブ 	1・2 年、サポート学級…9 回 畑準備（耕起・施肥等）、種まき、収穫、鳥獣対策、焼き芋大会、感謝の会 昔遊び（1 年） 宿泊研修用トーチ作り（5 年） 職員玄関前門松設置
工作クラブ	上の洞げんきクラブ	年間 5 回 作品づくり、ミニ門松作り、竹細工遊び

【安全・環境整備】

活動内容	関係団体等	日程
登下校安全指導・見守り	見守りボランティア 青少年育成市民会議 各自治会	授業日の登下校 （毎日 35 名～40 名参加） 一斉登校指導（年 4 回） 対面式 5 月、感謝の会 3 月
環境整備	竹折・藤区協議会	竹折区…7/6 藤区…8/23
防災学習等	武並消防団、恵那市防災士 防災研究会、振興事務所 地域自治区運営協議会 地元企業	防災スクール（年 2 回） 防災の日 8/31 プール掃除

【放課後児童クラブ】

活動内容	関係団体等	日程
スポーツ・体験学習・工作・食育・文化芸術・国際交流	ぞう SUN クラブ 上の洞げんきクラブ	水曜日、15:15-16:30 年間 9 回

【ふるさと学習（体験）・地域活動等】

活動内容	関係団体等	日程
道笛学習	藤武並神社道笛保存会 	6 年（10 回） 道笛制作、演奏練習 5 年生（1 回） 道笛制作見学 ＊武並文化発表会（2/14）にて演奏発表
中山道学習	中山道保存会 	3 年…10/27（下街道散策） ＊4 名参加 6 年…10/29（下街道散策） ＊4 名参加 11/5（まとめの学習） ＊取組の様子を振興事務所にて写真展示
武並音頭指導	楽々会	対象：子ども園職員…6/12 対象：1 年～4 年児童…7/14
ラジオ体操	青少年育成町民会議 学校運営協議会、武並小学校、各自治会、各子供会、壮健クラブ、社会福祉協議会武並支部	夏休み中 ＊実施期間は各地区による ＊大人 131 名 子供 131 名参加
環境美化	青少年育成町民会議 各自治会、各子供会	7 月下旬 ＊各地区にて実施
夏まつり	地域自治区運営協議会（夏まつり実行委員会）	場所：武並コミュニティセンター キッズダンス、武並音頭、宝くじ、花火等…8/15 ＊今年度は、会場が武並コミュニティセンターに変更になった。
青少年ふれあいまつり	青少年育成町民会議 武並小学校	場所：武並小学校 映画鑑賞…11/8 ＊PTA と共催、親子で鑑賞
武並町文化まつり	地域自治区運営協議会（文化まつり実行委員会） 市民三学武並委員会	場所：武並コミュニティセンター 作品展示（園児、小学校、中学校、一般）、武並小中学校版画展、フォトコンテスト…11/15, 16 中学生ボランティア参加
武並町文化発表会	地域自治区運営協議会（文化発表会実行委員会） 武並小学校	場所：武並小学校 文化発表（小学校各学年、恵那西中ブラスバンドクラブ、一般）…2/14

【その他】

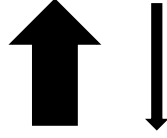
- ・毎年 4 月下旬、恵那西中ウォーキングの見届け・安全指導の協力を行っている。
- ・毎週火曜日、武並コミュニティセンター前の資源回収「かえるステーション」の整理整頓を児童が行っている。

令和7年度【武並地域学校協働活動推進委員会の位置づけ】

学校運営協議会

武並地域学校協働活動推進委員会

* 会長	学識経験者
* 副会長	地域自治区運営協議会会長
* 副会長	校長
* 委員	竹折区協議会会長
* 委員	藤区協議会会長
* 委員	武並振興事務所長
* 委員	武並コミュニケーションセンター三学塾塾長
* 委員	主任児童委員
* 委員	主任児童委員
* 委員	PTA 会長
* 委員	武並こども園長
* 事務局	教頭、教務



* 顧問	地域自治区運営協議会会長
* 顧問	竹折区協議会会長
* 顧問	藤区協議会会長
* 顧問	校長
* 委員長	学校運営協議会会長（総括コーディネーター）
* 副委員長	武並コミュニケーションセンター三学塾塾長（地域コーディネーター）
副委員長	放課後子ども教室（地域コーディネーター）
* 学校代表	教頭
* 委員	PTA 会長
* 委員	武並こども園長
* 委員	主任児童委員
* 委員	主任児童委員
委員	市民三学武並委員会委員長
委員	青少年育成町民会議代表
委員	武並消防団 団長
委員	壮健クラブ代表
委員	上の洞げんきクラブ代表
委員	道笛保存会代表
* 事務局	武並振興事務所長

■ 運営協議会の決定事項について推進委員会が実践する。

■ 推進委員会からの提案事項を運営協議会で協議する。

* 印の人は二つの会議に参加している。

推進委員会委員長（総括コーディネーター）と副委員長（地域コーディネーター）が中心となり、日常的に学校と連絡を取り活動を推進する。

地域の自然や歴史、文化、産業などを学ぶことを通して故郷に愛着や誇りをもてる子どもの育成を目指して

対象学校名等	恵那北小学校・恵那北中学校	対象学年	全校・全学年
協働活動内容	学校と地域の人材が協働し、地域の自然や歴史、文化、産業を学ぶ場と機会を提供する。		

地域への願い

地域の講師が児童に作り育てたい作物を選択させたり植え付けの作業を指導したりすることを通して、作物や花などに関心をもつようにしたい。また、指導を受ける児童が地域の人材に感謝の気持ちをもち地域のとのつながりを意識するようしたい。

地域学校協働活動推進員の関わり方

「学校運営協議会」に所属し、地域と子ども達に関わる活動に参加したり、子ども達の体験や子どもにとってより良い体験活動となるよう地域と学校をコーディネートしたりする協働活動を行っている。地域学校協働活動推進員の役割は、地域と学校をつなぎ、子ども達の成長と地域の活性化に役立たせる事である。

具体的には、以下の様な活動を行った。

- ・子どもたちの授業や活動を実施する前に、学校や三学塾塾長と打ち合わせを行い、野菜や花苗など活動に必要なものをリストアップし、授業前に学校に届くようにすること。
- ・学校や担任、地域の講師と授業の打ち合わせ
- ・野菜づくりに限らず、多くの活動で学校と地域住民、地域団体などをつなぐパイプ役となり、生活科や学級活動の打合せの実施、学校や地域住民など、地域の様々な委員会や諸団体と連携し、共同で活動を進めることが出来た。

活動の工夫や効果

学校と地域人材と協働した活動は下記のようなものが挙げられる。()は協働する団体

- ①猪狩山城跡の教材化と授業の実施（6年・中1）（猪狩山城跡保全伝承委員会）地域人材を講師として招きコミセンや北小、北中で郷土伝承学習の実施と現地で見学
- ②ゆず学習・ゆずもぎ3・5年・中学校1年（かさぎゆず組合）
- ③野菜づくり（姫栗富貴会）地域の講師のアドバイスを基に作りたい野菜を自己決定させ、観察の意欲化を図る。
- ④花苗植え（夏・秋）（姫栗富貴会）

植え方だけでなく、花をお世話する苦労やきれいな花が咲いた時の喜びを語って頂く。

- ⑤カヌー・サップ体験（北中全学年）（いいなかクラブ・3町青少年育成町民会議）



小学校のカヌー・サップ教室

学年ごとにカヌーやサップの操作に慣れる。昨年と比べ向上した点を話させ個人の伸びを認め、児童や生徒の自己肯定感を増やす。

多様な団体に北小学校・北中学校に来校して頂き児童・生徒の姿を見ていただく。地域学校協働活動推進員は多面的な視点から、児童・生徒の伸びを見ていただくようにした。児童・生徒が地域に支えられ

ている実感をもてるように学校からも話していただいた。



猪狩山城跡で説明する委員

恵那北地域学校協働本部設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、恵那北小学校区の小学生及び中学校の子どもたちの学びや成長を支え、るとともに、学校の教育方針・目標に基づき、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を推進するために設置する。

(名称)

第2条 この組織は、恵那北地域学校協働委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる構成員により組織する。

(1) 恵那北小学校区内の地域活動に関する者

(2) 地域学校協働活動推進員

(3) 恵那北小、恵那北中学校教頭又は地域連携担当職員

2 委員会には委員長を置く。委員長は会務を総理し会議の議長となる。委員長に事故があるとき、委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

3 委員会には、顧問を置くことができる。

4 委員会には、役員会を置く。

(地域学校協働活動推進員)

第4条 委員会には 地域学校協働活動推進員（以下「推進員」という。）を置く。推進員は、学校の方針や地域協議会の方針を踏まえ、地域住民等と学校との情報の共有を図るとともに、委員会の活動を行う地域住民等に対する支援を行う。

(任期)

第5条 任期は、原則2年とし、再任は妨げないものとする。欠員が生じた場合における委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事業)

第6条 委員会は、第1条の目的を達成するため、以下に掲げる活動を行う。

(1) 地域学校協働活動年間計画・活動計画を検討・決定し、地域や学校へ報告する。

(2) 各学校の運営協議会で熟議され、地域に依頼された内容について検討し、協力する。

(3) 地域の歴史、文化、産業等、地域の良さを学ぶ機会を子ども達に体験させるために必要な情報を学校に提供する。

(4) 地域人材を調査し、学校へ情報提供する。

(5) その他、目的を達成するために必要な事業。

(会議)

第7条 会議は、委員長が必要に応じて招集し、開催するものとする。

2 会議は委員会及び役員会とする。

3 委員長は、構成員以外の者を出席させることができる。

(委員会)

第8条 委員会では、事業の目的を達成するために、学校運営協議会から提案された内容を熟議する。

2 委員長は、構成員以外の者を出席させることができる。

(役員会)

第9条 役員会は、委員長、副委員長、地域学校協働活動推進員、笠置振興事務所長、笠置三学塾塾長、顧問によって組織する。

2 役員会では、会議内容とともに、学校や地域から要望のあった事項について検討する。

3 役員会では、推進員や委員候補の推薦を行う。

(事務局)

第10条 委員会の事務局は、笠置振興事務所に置く。

(1) 事務局は、委員会の会計処理を行う。

(2) 事務局は、委員長と相談して、日程調整をし、会議の案内を行う。また、会議に必要な資料を委員長と相談して準備する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会議において定める。

付則（令和2年7月3日）

この要綱は、令和2年7月3日から施行する。

付則（令和3年2月19日）

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

付則（令和5年3月28日）

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

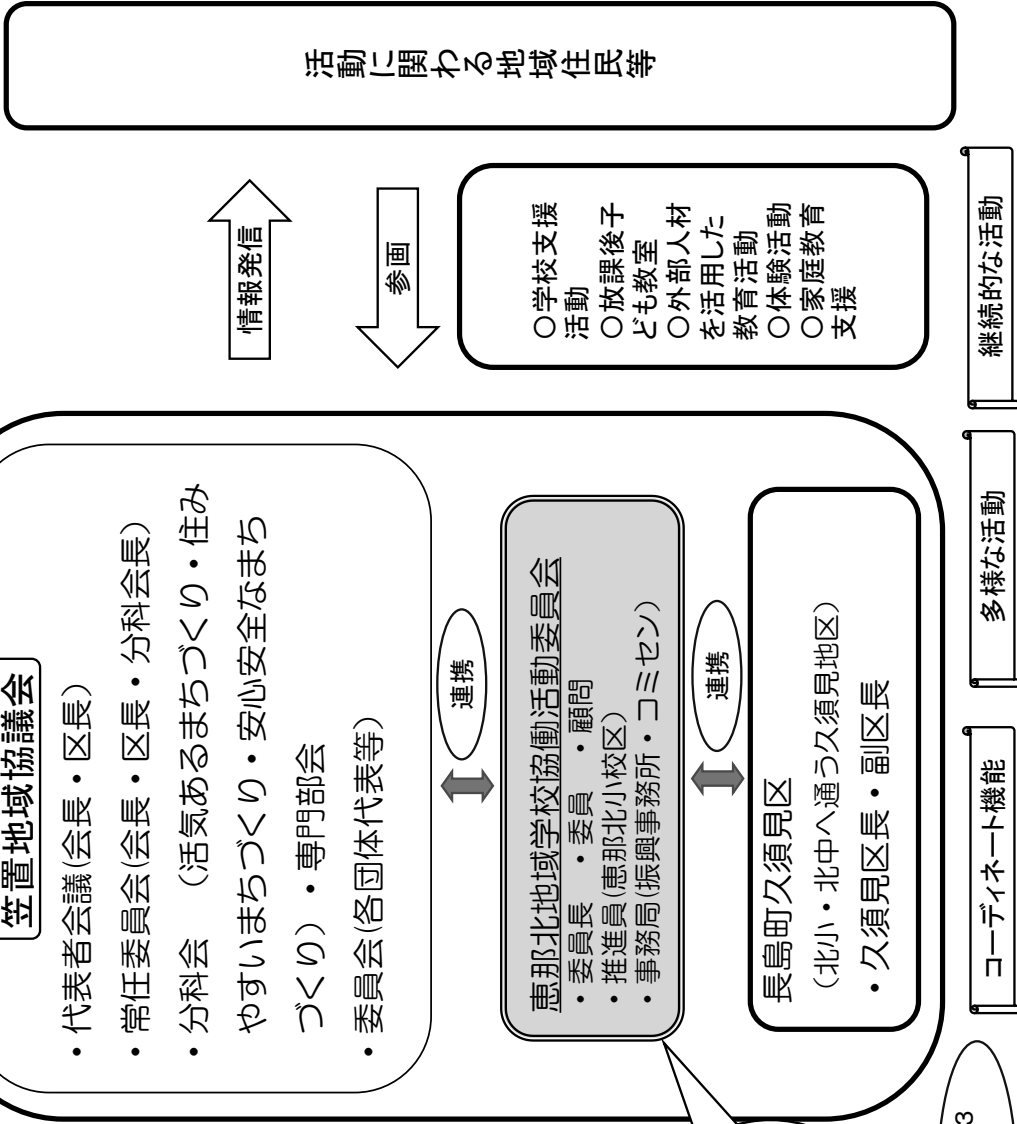
付則（令和6年3月20日）

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

付則（令和7年11月20日）

この要綱は、令和7年12月1日から施行する。

恵那北地域学校協働活動体制



郷土を愛する心を育む中野方

対象学校名等	恵那市立中野方小学校	対象学年	全学年
協働活動内容	「中野方町まちづくり連絡会」の会員相互の連携を基に、活力あるまちづくりに努める中、学校との連携を図り、健全で郷土を愛する心を持つ子どもの育成を進める。		

地域の願い

「里山の恵みを活かす」「みんなが活き活きする」「安心して暮らせる」の三本の基本目標を立ててまちづくりを進めてきている。その活動の中で、地域が連携して町全体で子ども達の学びや成長を支え、様々な自然を生かした体験を通して、郷土のよさを見つめ末永く大切にしていきたいと思う心を育んでいきたいと願っている。

地域学校協働活動推進員の関わり方

「地域協議会運営委員」「まちづくり連絡会委員」に所属する中で、地域と子ども達が関わる活動に参加したり子ども達の体験する様子を見学したりしながら、子どもにとってより良い活動となるよう地域学校と連携を工夫する。また地域に広く活動の様子を知らせる。

活動の工夫や効果

- 総合的な学習の時間でのかかわり
 - 3年生・・・「花いっぱい活動」「大豆を育てる」
 - 4年生・・・「中野方の福祉活動」
 - 5年生・・・「米作り」「森の環境を守る活動」
 - 6年生・・・「米作り」「バイオリンの演奏を楽しむ」「中野方の産業」

毎年、これらの活動に関わりのある町内の団体がボランティアで、体験活動を応援したり一緒に学ぶ機会を持ったりしている。
- 「黒瀬街道を残そう、そして後世に伝えよう事業」とのかかわり

将来に渡って中野方地域のことを残していくためには子ども達に知ってもらうことが大切であると、学校の朝活動の時間を利用し話をする機会を持っている。「くわがしらの会」「お話の会やまびこ」の方を中心に「中野方かるた」を導入に利用し進めている。更に、本年度はこれらの活動をホームページで紹介するように取り組んだ。
- 地域が企画して行う活動

川遊び体験・望郷の森キャンプ・ほたるコンサート 等々
本年度も地域の実行委員会が組織され、楽しい活動が行われ多くの子どもや家族が参加した。
- 地域への発信

協働活動が行われていることを地域のみなさんに知っていただけるよう「ふるさと文化まつり」や地域の施設に取り組みが分かる掲示を行い、どんな活動が進められているのか多くの方に知って頂く取り組みを行った。
- 活動から得られるもの

子ども達に地域のよさが伝わる活動や体験を学校と地域のボランティアの協力連携によって、本年度も継続して多くの活動が進められた。
こうした活動の地道な積み上げが、地域と学校の気持ちよいつながりを長く継続する基になっている。子ども的人数が減ってきている今、学校の学習に負担がかからないことだけは、心がけていきたい。





令和 7年度（ 中野方小学校区 ）地域学校協働活動年間計画表

期日	活動内容	活動場所	参加者等
4月	・バイオリン学習	小学校	・6年・講師・地域ボランティア
5月	月一・二回の朝活動 中野方の歴史・黒瀬街道の勉強会 くわがしら・三学・やまびこ 毎月 第一月曜日 朝 各教室に於いて おはなしの会やまびこによる読み聞かせ活動 毎週月曜日 放課後 五・六年の希望者を集め コミュニティに於いて「寺子屋中野方」	黒瀬街道（学校～ダム） 笠置神社 坂折棚田 小学校 小学校 小学校 小学校	・全校児童 ・くわがしらの会 ・やまびこの会 ・市民三学の会 ・全校児童・地域 ・5・6年・棚田保存会 ・6年・講師・ボランティア ・3年・アグリ ・3年・壮健クラブ ・2年・アグリ 4年・社会福祉協議会
6月	さつまいもの苗植え バイオリン学習 森の環境学習（水源地をたどる） ほたるコンサート 企業見学 福祉学習 田の草取り 花いっぱい運動 大豆を育てる	小学校 小学校 坂折 水源地の森 小学校 地域 まめの木 坂折棚田 小学校 小学校	・1・2年・アグリ ・6年・講師・地域ボランティア ・5年・水源の森委 ・全校児童・地域 ・6年 ・4年・まめくらクラブ ・5・6年・棚田保存会 ・3年・壮健クラブ ・3年・アグリ
7月	バイオリン学習 企業見学 大豆を育てる	小学校 地域	・6年・講師・地域ボランティア ・6年 ・3年・アグリ
8月	望郷の森キャンプ体験 魚つかみ会 文化歴史を学ぶ会	望郷の森 中野方川 小学校	・希望する親子 ・望郷の森委 ・希望する親子 ・地域協議会 ・5・6年 ・杵振り踊り保存会

9月	・杵振り踊りの学習 ・森の環境学習(間伐体験) (木の健康診断学習) ・稲刈り体験 ・白杖体験・点字学習 ・花いっぱい運動 ・農業体験 (秋野菜を植える)	月一、二回の朝活動	毎月 第一月曜日 朝	毎週月曜日放課後 五・六年の希望者を集めコミュニティに於いて「寺子屋中野方」	小学校 坂折 坂折棚田 小学校 小学校 小学校	・5・6年・きねふり保存会 ・5年・水源の森委員 ・地域運営支援員 ・5・6年・棚田保存会 ・4年・社会福祉協議会 ・3年・壮健クラブ ・2年・アグリ
10月	・バイオリン学習 ・福祉体験(デイサービス見学) ・小学校秋祭り(体験発表会) ・農業体験活動 (サツマイモの収穫)	中野方の歴史・黒瀬街道の勉強会	おはなしの会やまびこによる読み聞かせ活動		小学校 めぐみ 小学校 小学校	・6年・講師・地域ボランティア ・4年・めぐみ職員 ・全校児童 ・地域の方々 ・1・2年・アグリ
11月	・福祉体験(交流会) ・森の環境学習 (木の駅プロジェクト) ・企業見学 ・バイオリン学習 ・花いっぱい運動	くわがしら・三学・やまびこ			まめの木 木の駅 金山 地域 小学校 小学校	・4年・まめの木 ・5年・地域運営支援員・木の駅金山職員 ・6年 ・5年・講師・地域ボランティア ・3年・壮健クラブ
12月	・大豆の収穫 ・企業見学 ・森の環境学習				小学校 地域 小学校	・3年・アグリ ・6年 ・5年・水源の森委員会
1月	・かるた大会 ・バイオリン学習 ・味噌・豆腐づくり				コミュニティー 小学校 小学校	・希望児童・地域 ・5年・講師 ・3年・食農リーダー
2月	・バイオリン学習 ・地域の歴史を学ぶ (安江コレクション)				小学校 まめの木	・5年・講師 ・3年・くわがしら
3月	・バイオリン学習 ・「おかさげ学習」のまとめ 中野方のよさをまとめ発信する			「寺子屋中野方」	小学校	・5年・講師 ・全校児童

* 今年度の「黒瀬街道に関わる活動」の中で、子ども達がホームページの作成に関わっていく予定

図 地域学校活動推進員の配置組織

推進員配置のねらい

図関等の組織系

中野方町のまちづくり組織体系

令和6年4月25日
まちづくり連絡会資料

恵那市・市内12自治区

地域住民の意見の集約と調整を行いながら、地域の課題の解決を図るとともに、地域の意見を市政に反映させるため協議する地域の意思決定機関

協議会総会委員

- ・中野方自治振興会会長、副会長、
- ・各区自治振興会長
- ・財産区正副議長
- ・地域学校協働活動推進員
- ・中野方まちづくり連絡会事務局長
- ・1部～3部女性の代表
- ・恵那市観光協会中野方支部長
- ・恵那市社会福祉協議会中野方支部長
- ・中野方農業振興協議会会長
- ・恵那市消防団中野方分団長
- ・中野方壮健クラブ連合会会長
- ・中野方町体育協会会長
- ・恵那地区交通安全協会中野方支部長
- ・中野方民生児童委員協議会長
- ・中野方小学校PTA会長
- ・中野方子ども園保護者会長
- ・中野方町青少年育成町民会議会長

中野方自治振興会(地縁団体)

地域の協働活動を行うことにより、良好な地域社会の維持・形成に資する中野方の自治を推進する組織

振興会総会(町民全員参加)

役員会

年間の行事の提案と承認

議案の付議と審議・承認

運営委員会

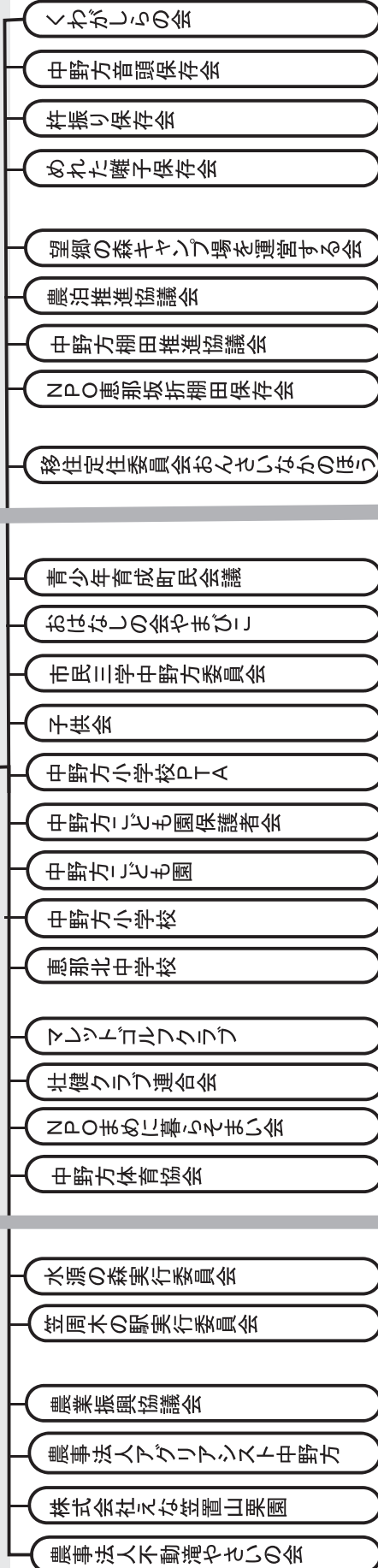
- ・1区～11区自治振興会長
- ・1部～3部女性の代表
- ・地域学校協働活動推進員

地域の多様な主体と調整を図りながら、総合的・包括的にまちづくり活動を行うための判断を行う

中野方まちづくり連絡会

会員団体相互の連携により、①活力あるまちづくり活動
②学校との連携による健全な子どもの育成活動を行う

年1回以上の総会を開催する



事務局と関係団体でWGが実行委員会を作り実行する

事務局と関係団体でWGが実行委員会を作り実行する

対象学校名等	飯地小学校	対象学年	全学年
協働活動内容	飯地自治区協議会・飯地自治区運営委員会・飯地小学校運営協議会が連携し、子どもたちにふるさとへの愛着と誇りを育むことができる活動を実施する。		

地域の願い

子どもたちが安心して学校生活が送れるように地域全員での見守り活動、また飯地の歴史や文化を継承することにより、ふるさと飯地への愛着と誇りがもてるようにしたい。

地域学校協働活動推進員の関わり方

小学校の学校運営協議会委員及びいいじっ子サポーターとして、各種学校行事やふるさと探訪遠足・校内環境整備作業・ふれあい花壇づくり・学校農園野菜づくり等々の活動に参加している。

また、飯地自治区協議会・飯地地域自治区運営委員会と連携し、五毛座歌舞伎公演、飯地町敬老会、飯地高原文化まつりで披露する子ども歌舞伎や飯地太鼓の支援、青少年健全育成活動として行われる新春どんどこ焼きなどの地域行事にも関わり、学校と地域を繋ぐ役割を果たしている。

活動の工夫や効果

*子どもたちにふるさとへの愛着と誇りを育む活動として、飯地五毛座歌舞伎保存会や飯地太鼓保存会の協力を得て地域の伝統芸能である歌舞伎や太鼓を学び、その学習成果を地域行事において発表している。



*子ども歌舞伎で小学生、中学生が演じることや、飯地高原文化まつりで小学校低学年が太鼓を披露することは、子どもたちにとっては豊かな体験となり地域の人たちにとっても飯地の魅力を再確認する機会でもあるため地域と学校を繋ぐ大切な協働活動となっている。



*ふるさと探訪遠足や飯地こども園・飯地小学校合同運動会などの学校行事への地域の方々の参加や、学校農園の野菜づくり、ふれあい花壇の花植え、校内環境整備作業などのいいじっ子サポーターとしての関わりは、少人数の学校ならではの特色ある協働活動として学校と地域の連携に取り組んでいる。



*学校運営協議会の中で地域学校協働本部推進会議を開催し、年間計画、予算及び取り組み状況などを協議、確認、情報共有しつつ地域に向けては、飯地町広報「天空の里だより」で活動の様子を掲載している。

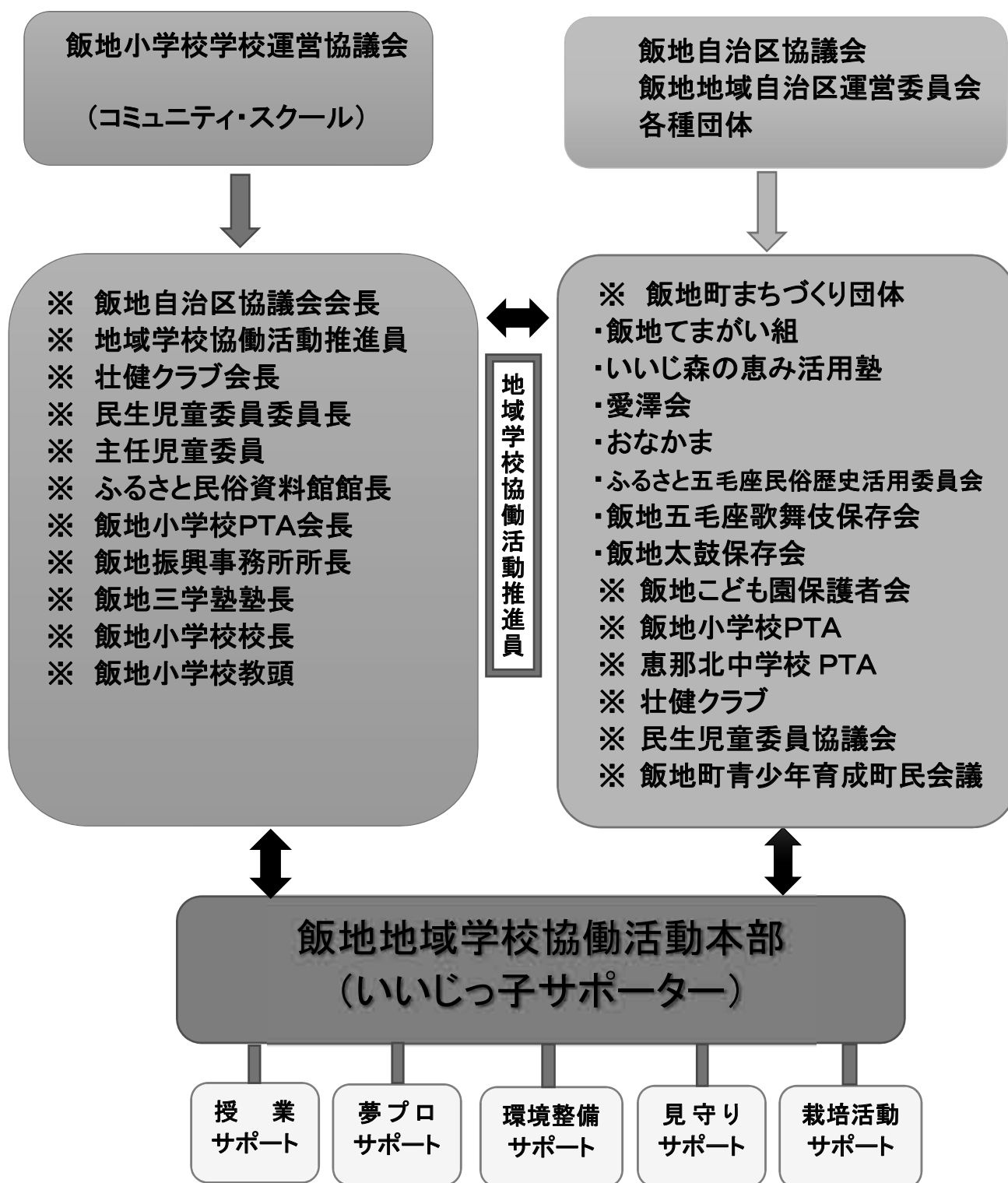
次年度は小学校の児童数減に伴い職員数も減少するため、さらに地域と学校の協力体制を強化する必要がある。



令和7年度 飯地地域学校協働活動年間計画

	飯地小学校	恵那北中学校	地域行事	活動本部
4月	五毛座歌舞伎公演出演 第1回学校運営協議会 学校農園 芋植え	五毛座歌舞伎公演出演 第1回学校運営協議会	第31回五毛座歌舞伎公演	第1回活動本部会議 栽培活動サポート
5月	ふるさと探訪遠足			授業サポート
6月	ふれあい花壇づくり	第2回学校運営協議会		環境整備サポート
7月	第2回学校運営協議会 町内クリーン作戦参加	笠周三町ふれあい事業 恵那北中学校カヌー教室 町内クリーン作戦参加	町内クリーン作戦	第2回活動本部会議
8月	夏祭り参加 校内環境整備作業	夏祭り参加	飯地高原納涼夏祭り	環境整備サポート
9月	子ども歌舞伎出演	子ども歌舞伎出演	飯地町敬老会	
10月	運動会 ふれあい花壇づくり	体育大会		環境整備サポート
11月	文化まつり学習発表 学校農園 芋ほり	文化まつりボランティア 第3回学校運営協議会 文化祭 特産品販売	飯地高原文化まつり	栽培活動サポート
12月	第3回学校運営協議会			第3回活動本部会議
1月	新春どんと焼き参加		新春どんと焼き	
2月	いいじっ子発表会 第4回学校運営協議会	第4回学校運営協議会		第4回活動本部会議
3月	卒業式	卒業式		

飯地地域学校協働活動本部組織図



推進員の役割

学校を核とした地域づくりの為、地域住民や学校関係者との連絡、調整、活動の企画、運営を行うコーディネート機能の充実をはかる。

対象学校名等	岩邑小学校・岩邑中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	地域自治区等と学校が連携し合うことで、将来にわたって、自分とふるさとを愛する子を育てる『岩村プラン』		

自分とふるさとを愛する子を育てる『岩村プラン』

地域の願い

児童・生徒たちが、地域に誇りと貢献できる環境を創っていききたい、大人も子どもと一緒に学べるよう学校、保護者及び地域の知恵と意見を反映させて協働しながら、岩村の子どもたちの成長を考えながら地域を知り、学校を知り、地域と学校が共に活動していきます。

地域学校協働活動推進員の関わり方

ふるさと学習の根幹として、郷土の偉人「佐藤一斎先生」「三好学博士」「下田歌子先生」について学び、学校運営協議会、NPO法人「いわむら一斎塾」及び地域の伝統文化を学ぶ会「いわむら五っこ」など団体同士の折衝や外部組織との連携・協働を行っていきます。

また、岩村地域学校協働本部会議を下記のとおり行いました。地域の横の広がりの拡大、子育てに関わっている方の参加など協働本部のかさ上げを進めていきます。

第1回を7月11日(金)に開催し、推進員報告・情報共有を行いました。第2回を3月に開催し、各委員報告・次年度に向けて対応を協議しました。

活動の工夫や効果

1 特徴的な取り組み

(1) 地域行事の活性化

【小学生】

- ① 10月19日(日)佐藤一斎生誕二百五十三年記念 第29回言志祭 ～佐藤一斎まつりに6年生が参加し、言志四録の群読「私たちは、一斎先生の教えを心に刻みそれぞれの志に向かって進んでいきます。」と発表、1～5年生は「いわむら体験プログラム」で、地域の講師を迎え、1年生はからすみだんごづくり、2年生は絵手紙、3年生は木っ端でロボット作り、4・5年生はまなびとあそびの五感体験をしよう(いわむら五っこ)で、ヌメ革で作るレザークラフト体験、トントン・グルグル・ストリングアート、紙のステンドグラス、巾着袋のデコパージュ、てぬぐいを綺麗な藍色と素敵な柄に染めてみよう、切り絵で「しおり」づくり、サンキャッチャーと家紋でステンシルアート、甲冑ストラップづくりワークショップ、己書 自分だけの書でステキな作品づくり、ペン立てづくりの10のコースから選択し体験しました。

【中学生】

- ① 歴史的財産を次代に継承し地域の誇り守るため岩村城跡一斉清掃に参加しました。
1回目6月1日(日)、2回目9月7日(日)に開催され、1回目は、雨天のため参加せず、2回目は29人余りの生徒と教諭が参加しました。

- ② 総合的な学習「温故知新」ふるさと教育を、岩村の味・雅楽・絵手紙・スケート・弓道・岩村の自然・岩村の歴史（獅子舞）・岩村城和太鼓の8コース行いました。令和7年11月には、この温故知新を支えている地域の講師の方々に岐阜県から「岐阜県地域子ども支援賞」が贈られました。
- ③ 防災教室「命を守り切る訓練」を10月31日（金）に日本防災士会岩井慶次県支部長、自衛隊・消防署・市役所・地域自主防災隊・壮健クラブなどの協力により実施しました。1年生は「地域や家庭でできる防災」講話後、応急担架・新聞スリッパ作りやロープワーク・煙体験、2年生は「自衛隊の災害派遣」講話後、救急救命・AED研修、3年生は「能登半島地震での支援活動や避難所の生活」講話後、避難所設営訓練を行い防災に関する活動をしました。

【共通取り組み】

- ① まちなかこども作品展出展 町屋での開催
1回目 11月1日（土）から11月14日（金）、2回目 1月24日（土）から2月7日（土）
- ② いわむら町民展 3月14日（土）～15日（日） 佐藤一斎學びのひろばでの開催

（2）地域の文化振興

【小学生】10月19日（日）地域の伝統文化を学ぶ会「いわむら五っこ」が企画する「岩村体験プログラム」を学年に応じて体験（再掲）

【中学生】地域総合学習の「温故知新」での無形民俗文化財「雅楽」、「獅子舞」の継承（再掲）

（3）郷土の偉人学習

【小学生】

自分とふるさとを愛する子を育てる「岩村プラン」、「総合的な学習時間」として「先人から学ぶ学習」を、全学年が岩村ゆかりの地、先人ゆかりの地巡りを行うとともに、下田歌子賞の短歌の部に寄稿、5・6年生は全員エッセイの部に出品しました。短歌の部には岩邑小2年生の宇野さんが「最優秀賞受賞」、エッセイの部では6年生の加納さんが嚶鳴協議会賞を受賞しました。

「総合的な学習の時間」

3年生 地域まちづくり学習と関連して「岩村城城主お直の方に学ぶ」

4年生 地域環境学習と関連して「三好学博士について学ぶ」

5年生 地域文化学習と関連して「下田歌子先生について学ぶ」

6年生 地域歴史学習と関連して「佐藤一斎先生について学ぶ」

（4）取組の成果

児童・生徒は、ふるさと学習によりふるさとを愛する意識が強くでき、活発な活動・連携ができました。令和3年に開催された全国山城サミット・佐藤一斎先生の生誕250年記念嚶鳴フォーラムなど全国的なイベントが契機に今まで以上に关われるようになり今後一層進めていきます。



岩邑中「生徒参加 岩村城跡一斉清掃」



岩邑小「岩村城主お直の方に学ぶ」



岩邑小「言志祭での言志四録の群読」



岩邑中「温故知新での雅楽の稽古」

岩村地域学校協働本部

小学校運営協議会

地域自治区会長
推進員
学識経験者
主任児童委員
PTA会長
校長
塾長
振興事務所長
事務局
(地域担当教員)

学校の運営方針等について意見交換

連携・協働

地域自治区運営協議会

報告

地域学校協働本部

地域自治区運営協議会代表
推進員(2名)
小中学校支援団体代表
まちづくり団体代表(数名)
PTA会長
小学校教頭
中学校教頭
事務局
(塾長、振興事務所長)

地域で学校活動(部活動、学習活動、交通安全等)を支援。
小中学校の児童生徒による地域貢献

連携・協働

中学校運営協議会

地域自治区会長
推進員
学識経験者
主任児童委員
PTA会長
校長
塾長
振興事務所長
事務局
(地域担当教員)

学校の運営方針等について意見交換

『自分と人、地域を大切にする 山岡の子』

対象学校名等	恵那市立山岡小学校、山岡中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	・地域講師による総合的な学習の時間の支援 ・山岡町芸能文化発表会 ・さとやまフェア ・環境整備事業 ・ヒマリーステーション		

地域の願い

子どもたちの健やかな育成のため学校と地域が共通認識を持ち、それぞれの得意分野を生かした「ネットワーク」のもとに、具体的な活動を計画・検討する。地域の外部講師による多様な学びの機会や地域との体験学習を通じて、「ふるさと恵那」に誇りと愛着をもち、郷土愛と創造性を育んだ心豊かな人になることを願う。

地域学校協働活動推進員の関わり方

学校協働活動推進員は、地域と学校との定期的な情報交換・情報共有を学校運営協議会等で図り、学校から地域への協力依頼や地域から学校への要請など具体的な内容の調整をしている。また、ふるさと学習の講師の依頼や活動内容の検討、役割分担、関係団体への伝達事項の確認など学校と地域を繋げる重要なパイプ役である。

活動の工夫や効果

〈総合的な学習の時間の支援〉

- ・小学校では、地域・家庭の教育力を活用した教科支援と、「山岡町ふる里かるた」等を活用したふるさと学習を充実することでふるさとを愛する心と感謝の気持ちを育成した。
- ・中学校では、ふるさとを愛し学び続ける人を育てることを教育方針に掲げ主体性・社会性・郷土愛を育成した。山岡地域の講師から、地域特有の伝統・文化を学ぶことにより、ふるさとに対する愛着や誇りをもつことができた。

〈環境整備〉

- ・地域自治体運営協議会からの呼びかけと、区長会、地域女性部、壮健クラブ等の協力により、多くの地域住民の参加が得られた。今後も、こども園、小学校、中学校への関心と支援がさらに広がるよう、機会あるごとに学校の様子を地域に発信していくことが有用であり、地域学校協働本部の役割は大きい。

〈山岡町芸能文化発表会〉

- ・子どもたちが、学校の総合学習の時間に何を学んでいるか、その学習の成果の一部を、一人でも多くの地域の方々に観ていただける機会として「芸能文化発表会」を開催。
- ・発表の場を得た子供たちは、緊張感に包まれたなかで、精一杯自分を主張することができた。また、地域の人からも声を掛けられ、大きな自信につながった。
- ・会場の運営や司会進行は中学校生徒のボランティアが行った。多くの来場者があり心地よい達成感を得ることができた。

〈さとやまフェア〉

- ・さとやまフェアでは「お化け屋敷」を開催。中学生のボランティアが受付やお化け役や小さな子供の補助を行い地域の行事と一緒に参加しふるさとに対する愛する心を育成した

〈ヒマリーステーション〉

- ・園、小、中学PTAの合同運営で 地域の人たちと協力し段ボール、新聞、アルミ缶、ペットボトル等の資源を集め、園、小学校、中学校の備品に活用している

資料（写真）



小学校の総合学習
地域の方の田んぼへ行き、稲刈り体験を学ぶ



小学校の総合学習
地域の歴史を研究している生涯学習団体を
講師に招きふるさとかるたを用いて歴史を学ぶ



芸能文化発表会にて(ステージ発表)
中学校の総合学習の授業で学んだ和太鼓(竜王太鼓)を芸能文化発表会の呼び込み太鼓として演奏し地域の人に披露



芸能文化発表会にて
中学生の総合学習で学んだ陶芸、絵手紙、書道の発表を行った



園、小、中学合同環境整備
各 PTA、区長会、女性部、消防団、壮健クラブ
一般ボランティアによる草刈り

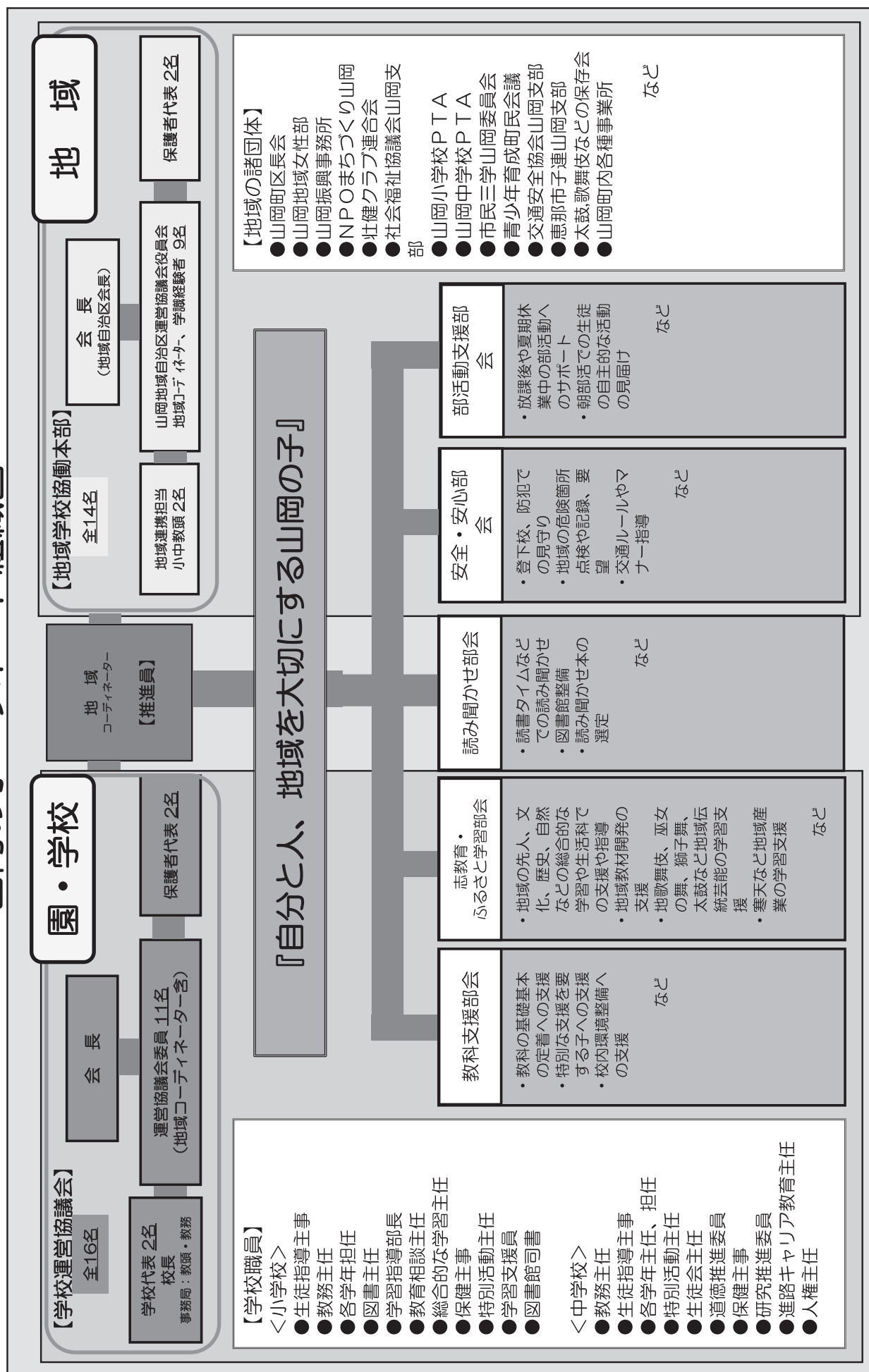


さとやまフェアにて
「お化け屋敷」を地域の人達と一緒に開催
中学生ボランティアが受付やお化け役や
小さな子供達の誘導を行った



ヒマリーステーションにて
地域の人たちによる地域の資源を学校の備品に
役立てている

山岡の子 サポート組織図



ふるさと明智の未来の担い手を育む

対象学校名等	明智小学校・明智中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	・地域の伝統芸能の継承のための活動・地域の講師による学習支援 ・町内イベントのボランティア活動		

地域の願い

地域と学校が目指している子どもの姿は、ふるさと明智が大好きな子、夢や目標をもち粘り強くがんばれる子、思いやりの心をもち誰とでも協力できる子。

地域学校協働活動推進員の関わり方

- ・明智小学校、明智中学校の学校運営協議会の委員。
- ・明智地域自治区運営協議会の4部会の中の郷土部会事務局。
- ・小中学校とも授業の講師依頼を受けて地域講師を紹介する。
- ・小学校で活動する地域ボランティアの紹介。
- ・地域の伝統芸能を継承できる環境づくり。
- ・小学校クラブ活動講師の紹介。
- ・小学校学習支援員の紹介。



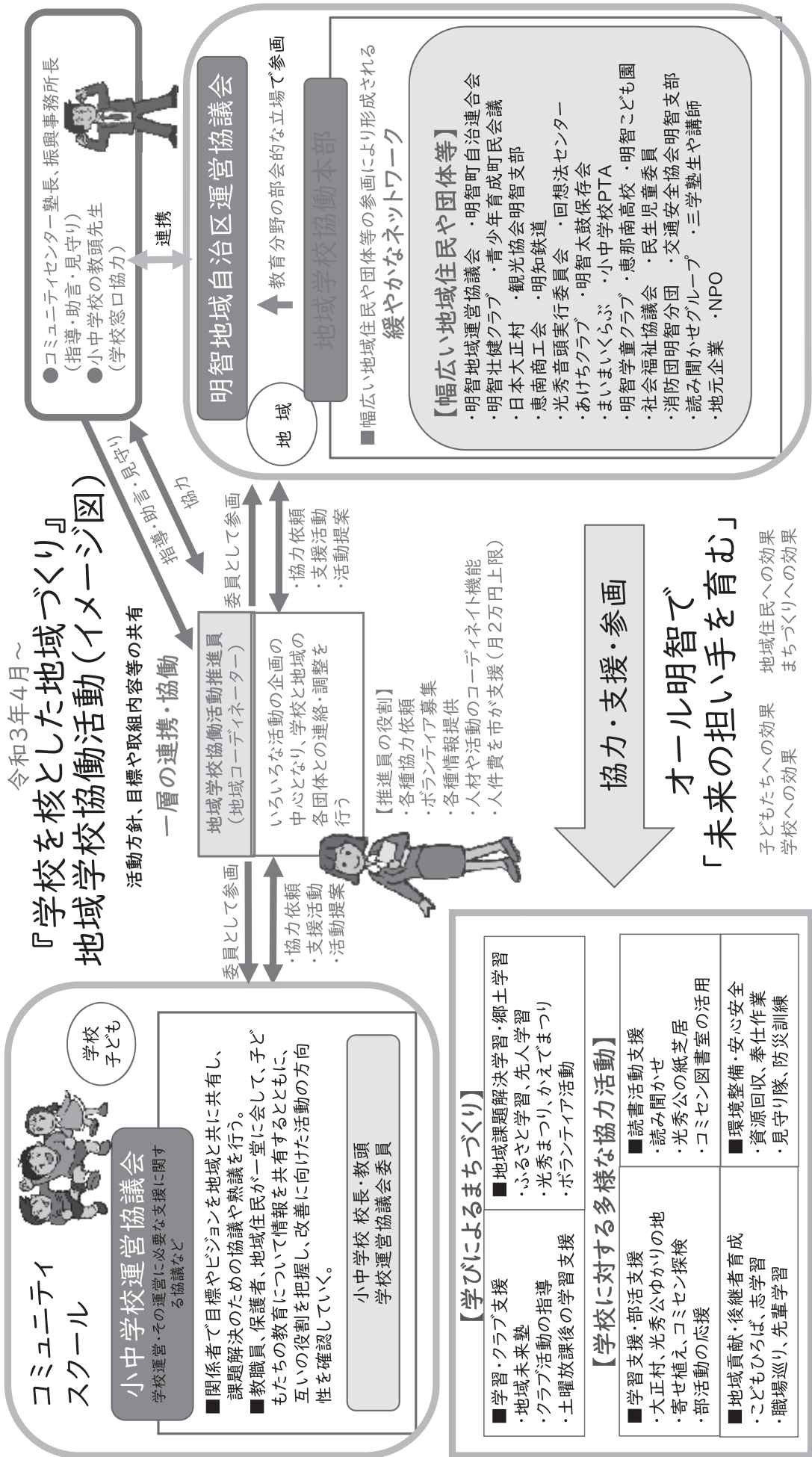
活動の工夫や効果

明智中学校

- ・令和7年度は中学校の合唱発表会に地域代表として恵那市文化振興会明智支部の「かえで合唱団」と保護者代表のPTA役員と3年生生徒と教職員がステージ上で合唱した。
- ・今年度も数年先に国史跡となる明智の山城（白鷹城）について中学校1年生全員に座学と現地研修を行い、地域の郷土研究家の方から貴重な知識を学ぶことができた。また、地元への理解を深めるためにロマン館と八王子神社にて実地研修を行った。

明智小学校

- ・6年生の寄せ植え授業は始めてから7年間継続している。6年生児童が毎年種まきから始めて自分たちの手で育てた花を、卒業式で飾る準備をしている。夏休み後から卒業式までの長い間花とふれあうことができるので花に対する愛情や咲いた時の感動を味わうことができる。
- ・運動会の前に1週間運動場の草取り作業を実施。地域の方々に呼びかけ、児童たちと一緒に作業ができた。来年度以降も継続していきたい。
- ・伝統芸能である箏の体験学習授業が実施でき、和楽器に触れる貴重な体験になった。
- ・今年度は俳句授業で学んだ児童が「恵那市俳句大会」に4名も入選し、児童も指導していただいた地域の先生も大変喜んでいた。



令和7年度 地域学校協働活動 「串原地区」

対象学校名等	串原子ども園・串原小中学校	対象学年	園児・児童・生徒
協働活動内容	串原地域の各種団体と学校との協働活動を通して、地域づくり、子どもを中心とした活動の充実を図る		

地域の願い

近年子どもの減少で、こども園児3名、小学生29名、中学生16名という少人数である。しかし、小さい地域だからこそできる、地域と学校との協働活動があると考えます。以前から、地域と学校の関係は密であり、住民と子どもたちは顔見知り、声をかけ合う関係で、地域の行事、学校活動に地域講師がそれぞれの学年に参加など、これからもこの関係を大切に、継続して行きたいと考え子ども達の成長を見守り、支えるのも住民の役割であると考えます。

今年度の活動

今年度は各団体と協力し次の行事を行いました。

○串原青少年育成実行委員会とともに

・「みんなでつくろう おいしい米・芋」

春：もち米・さつまいもの苗植え

秋：稲刈り・さつまいも収穫

収穫したもち米は住民に販売、ふるさと祭の餅投げに、また1月のどんど焼きの焼き餅にしました。

○市民三学串原委員会・PTA 共催

・8月 鑑賞会「はじめてのオーケストラ」

○串原小学校

・ふるさと学習（地域講師を招いて地域の学習）

1、2年生 「ささゆり学習」→ふるさと学習発表会で学習したことを発表

3、4年生 「ほたる学習」→ふるさと学習発表会で学習したことを発表

5、6年生 「歌舞伎」→「くしはらふるさと祭」公演

・「ハートフル交流会」地域の高齢者を招いて交流会

○串原中学校

・総合学習（中山太鼓を毎週金曜日に講師を招いて練習）

「中山太鼓 in ささゆりの湯」、「岐阜県太鼓まつり」

・「活木プロジェクト」

地域講師のもと薪を割り、束ねマレットハウスで販売

（収益は生徒会で地域のために役立てている）

○串原子ども教室



（もち米の苗植え）



（くしはらふるさと祭）

・年9回の活動計画に基づき、コミュニティセンターで実施

○串原園・小・中・住民運動会の実施 10月

○串原中学校閉校記念行事 3月

翌年度に向けて

多くの住民の参加や協力のおかげで、学校と地域を結ぶ関係はより深まっており、子ども達の学びも大きいと感じている。少子化、人口減少の進む中、参加者や講師の減少、活動の縮小も考えられるので地域学校協働活動の内容の工夫を行っていきたい。

また、今年度中学校が閉校となるため、来年度から中学生の地域活動も積極的に呼びかけ、地域とのつながりを断たないようにしたい。



子ども教室実施

6/1（土）「外で遊ぼう！」



子ども教室実施

12/20（土）「季節の飾り作り、読み聞かせイベント」

（年9回の活動計画に基づき、コミュニティセンターで実施）

上矢作の未来を担う子供たちの成長を支える「学校を核とした地域づくり」

対象学校名等	恵那市上矢作小学校・上矢作中学校	対象学年	全学年
協働活動内容	【イベント】 ・地のも感謝祭 ・ドローンプログラミング大会 【体験学習】 ・田畑栽培活動等 ・ドローン操作体験学習 【環境整備】 ・愛校作業 ・校舎周辺整備 ・資源回収 【地域課題解決・郷土学習】 ・ふるさと学習 ・上矢作フォーラム ・福寿太鼓		

地域の願い

- ◇ 上矢作地域計画『知恵と技、喜びをつなげるふるさと上矢作』を柱に、地域の子どもからお年寄りまで、年代関係なくコミュニケーションを図り、地域の歴史継承・文化体験を行う活動に関わるきっかけをつくり、参加することで、地域の絆を深め郷土愛を育む。
- ◇ 地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支え、教育活動の充実と地域づくりを進める。

地域学校協働活動推進員の関わり方

- 地域と学校をつなぐコーディネーター
- 教育支援活動の総合的な調整
- 学校と地域の団体・個人との連絡調整

活動の工夫や効果

1. 主な活動内容紹介

(1) 文化・歴史の継承

小・中学校では、地域で大切に守り継承されてきた文化財や遺跡（社寺等）ふるさとについて学ぶ学習を実施している。文化財を守る会や神社神職の方の協力を得て、中学校の地域伝統部会の生徒と前田砦・遠山塚へ行き、戦国時代の上矢作の歴史や、県の文化財に指定されている神社や彫刻の成り立ちの学習など、上矢作への理解を深める協力ができた。

(2) 中学校上矢作フォーラム

12月13日（土）に「上矢作フォーラム」が開催された。地域で活躍する地元住民の方が講師となり「地域活性部会」「地域伝統部会」「地域福祉部会」それぞれが取り組みしてきたことの成果と課題を明らかにして発表した。上矢作中学校としての最後のフォーラムとして、地域の方々とのディスカッションで感想や意見の交流をして、上矢作の将来や願いについても話し合うことができた。

(3) 上矢作「福寿太鼓」の伝承

上矢作小中学校の児童生徒が、年間を通して伝承芸能保護部会の協力により、上矢作太鼓の指導を受けている。学習発表会での披露はもちろんのこと、地域の様々な行事に参加して、その賑わいに一役かっている。学校と地域が連携して上矢作の「福寿太鼓」の伝承を担う活動ができています。

(4) 生産学習への協力

小学校では生産学習として野菜の栽培活動を計画している。地域の壮健クラブの方の協力を得て、畑の耕作を初め、苗の植え付け、雑草の駆除等を行っている。収穫までの学習の成果を、お世話になった地域の方を招待して発表している。

栽培学習への協力を通して、地域住民と触れ合いを深めることができた。



福寿太鼓



遠山塚

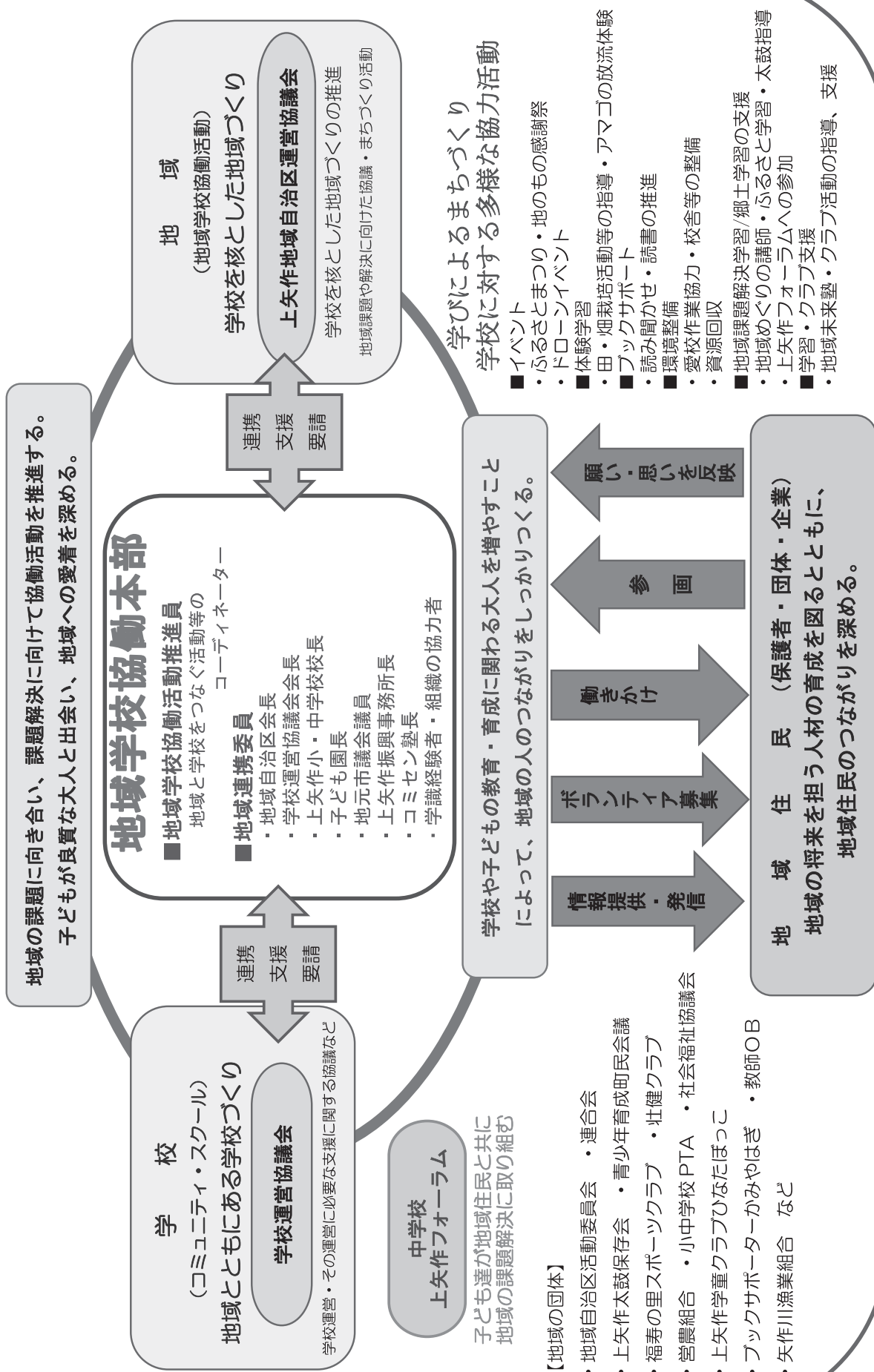


上矢作フォーラム



学習発表会

地域学校協働活動 「学校を核とした地域づくり」 ～地域住民と一緒に地域づくりに取り組む学校～



令和 7 年度 地域学校協働活動推進員一覧

地区名	担当学校区	氏 名
大井	大井小、恵那東中	足立 孝晴
大井	大井第二小、恵那東中	永治 彰康
長島	長島小、恵那西中	安田 和枝
東野	東野小、恵那東中	篠原登志郎
三郷	三郷小、恵那西中	小林 敏博
武並	武並小、恵那西中	石山 高顕
笠置	恵那北小、恵那北中	佐伯 直美
中野方	中野方小、恵那北中	池戸 広美
飯地	飯地小、恵那北中	柘植 賢二
岩村	岩邑小・中	宮地 喜義
山岡	山岡小・中	後藤 光男
明智	明智小・中	塩田 肇
串原	串原小・中	三宅 正子
上矢作	上矢作小・中	中垣 光弘

事務局 恵那市教育委員会 社会教育課 三学運動推進係
電話 26-6853